

PORTS OF OSAKA PREFECTURE



清水港と富士山 提供：清水港客船誘致委員会

大阪府の みなと

2026.1 No.142

TOPICS

府営港湾の整備、振興に関する要望活動	(一社)大阪府港湾協会	2・3
令和7年度“大阪湾つながる海の旅づくりプロジェクト”	岬町 まちづくり戦略室 企画政策推進担当	4
～深日港洲本港航路再生に向けた取組み～		
他港視察(静岡県清水港)を実施しました！	(一社)大阪府港湾協会	5～7
ASIA FRUIT LOGISTICA 2025に参加しました	大阪港湾局 計画調整部 振興課 利用推進担当	8
Seatrade Europe 2025に参加しました	大阪港湾局 計画調整部 振興課 利用推進担当	9
〈港湾協会セミナー〉『港湾ビジネスのための貿易金融とリスク対策入門』を開催します(ご案内)	(一社)大阪府港湾協会	10
【受講者募集中(無料)】ビジネス英語セミナーに参加しませんか？	堺泉北港港湾振興連絡協議会	10

PORT NEWS

海のワクワク学校(磯浜見学会)を開催しました	大阪港湾局 泉州港湾・海岸部 施設管理運営課 泉南管理担当/	11
	建設・施設保全課 深日担当	
大和ビジネス交流会2025に出展しました	大阪港湾局 計画調整部 振興課 利用推進担当	11
堺旧港親水護岸を活用したイベント「乙姫の休日。in 堺旧港2025」を開催しました ...	堺市 建築都市局 都市整備部 都心未来創造課	12
堺泉北港地元港湾振興会合同視察を実施しました	高石港湾振興会	13
長松海岸美化運動を実施しました	大阪港湾局 泉州港湾・海岸部 施設管理運営課 泉南管理担当/	13
	建設・施設保全課 深日担当	
泉大津フェニックスで野外イベントが開催されました！	大阪港湾局 泉州港湾・海岸部 総務振興課 総務振興/	14
	事業企画・防災課 地域調整担当	
第52回「堺港まつり」を開催しました	堺港湾振興会	14
高石港湾振興会は高石市の全小学4年生に向けて港湾施設見学会を実施しました	高石港湾振興会	15
岸和田港まつりを開催しました！	岸和田港振興協会	16
第45回全国豊かな海づくり大会～魚庭(なにわ)の海おおさか大会～	第45回全国豊かな海づくり大会大阪府実行委員会	17
1年前プレイベント「魚庭(なにわ)の海まつり」を開催しました！		
堺泉北港・阪南港でテロ対策訓練を実施しました！	大阪港湾局 泉州港湾・海岸部 事業企画・防災課 危機管理担当	18
岩手県釜石港のポートセミナーに参加しました	大阪港湾局 計画調整部 振興課 利用推進担当/堺泉北埠頭株式会社	19
大阪府内で広大な事業用地をお探しではありませんか？	大阪港湾局 泉州港湾・海岸部 総務振興課	20
めざせ、海上保安官	大阪海上保安監部 堺海上保安署	20

会員様紹介コーナー

大阪船主会のご紹介 ― 歴史と未来をつなぐ、海運の知恵と力 ―	大阪船主会	21～23
彩りと快適を提供し、人と地球の未来をより良いものに ― Color & Comfort ―	DIC株式会社	24～27
これからも「安全第一主義」を、創業125周年を迎える間口運輸	間口運輸株式会社	28～32
常に未来を見据えチャレンジ。宮崎県の物流(ライフライン)を担うために	八興運輸株式会社	33～35

会員情報

ごあいさつ

新年あけましておめでとうございます。

旧年中は、当協会の運営に多大なお力添えをいただき、厚くお礼申し上げます。

さて、昨年開催された大阪・関西万博は、国内外から2,900万人を超える来場者を迎え、大いに賑わうとともに、160以上の国・地域の人々との文化やビジネスといった多様な分野での交流が進展するなど、大阪が国際都市として世界に存在感を示す絶好の機会になりました。

大阪・関西万博の開催に際し、物流関係を中心に何かと制限のある中、多岐にわたりご協力を賜りました港湾関係の皆様へ、この場をお借りして厚く御礼申し上げます。

我が国の港湾を取り巻く環境は、不安定な国際情勢の下、燃料油や原材料の高騰、担い手不足の状態化、カーボンニュートラルへの対応など、大変厳しい状況が続いており、中でも、第二次トランプ政権による関税政策は、米中貿易摩擦を始め、世界の物流を大きく揺るがそうとしています。

エネルギーの9割以上及び食料の6割を海外に依存する我が国においては、製造品の輸出や食料・資源の輸入などのほぼ全てが港湾を通じて行われており、厳しい経営環境の中、国民生活をささえるため、製造や物流、エネルギー供給など港湾に関わる様々な分野の業務に日々ご尽力いただいております会員の皆様に深く感謝申し上げます。

本年の干支は丙午（ひのえ・うま）です。火のエネルギーが最高潮に達する非常にパワフルで情熱的な年で、行動力と変革の機運が高まり、新しい挑戦や飛躍のチャンスが訪れると謂われています。

当協会といたしましても、これまでの歩みを緩めることなく、新たな事業を積極的に展開するなど、大阪港湾局や沿岸市町そして会員の皆様としっかり手を携え、皆様のお役に立つことができるよう努めてまいりますので、引き続き、ご支援、ご協力を賜りますよう心からお願い申し上げ、新年のあいさつとさせていただきます。

(一社)大阪府港湾協会 会長 竹内 廣行



府営港湾の整備、振興に関する要望活動

(一社)大阪府港湾協会

府営港湾の整備や利用を促進するため関係国家機関に要望書を提出し、要望内容の趣旨説明や意見交換を行いました。要望事項と各要望先については以下のとおりです。

【要望事項】

1. 府営港湾の機能強化

- ① 堺泉北港汐見沖地区夕風第2号岸壁の早期整備について
- ② 堺北港堺2区の耐震強化岸壁の早期着手について
- ③ 阪南港阪南2区の臨港道路及び耐震強化岸壁の事業化について
- ④ 深日港洲本港航路再生への支援について
- ⑤ 「みなとオアシス」の本登録後の支援について

2. 安全・安心を支えるまちづくり

- ① 「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」について
- ② 都市基盤施設の老朽化対策の推進について

【要望先】

実施日 令和7年10月10日（金）

要望先 国土交通省 近畿地方整備局



近畿地方整備局 小林 副局長

【要望先】

実施日 令和7年10月23日（木）

要望先 国土交通省 港湾局



国土交通省 阿部 港湾局長



古土井 計画課長



佐々木 海岸・防災課長



有本 事業企画官

【要望事項】

深日洲本航路再生への支援について

【要望先】

実施日 令和7年11月18日（火）

要望先 国土交通省 近畿運輸局



近畿運輸局 小澤 次長

【要望事項】

1. 深日港の航路標識の維持について
2. 体験航海のための巡視船派遣の継続

【要望先】

実施日 令和7年12月8日（月）

要望先 海上保安庁 大阪海上保安監部



大阪海上保安監部 宮本 部長



令和7年度“大阪湾つながる海の旅づくりプロジェクト”～深日港洲本港航路再生に向けた取り組み～

岬町 まちづくり戦略室 企画政策推進担当

●深日港と洲本港をつなぐ航路再生に向けた取り組み

岬町と兵庫県洲本市では、両市町を中心とした広域交流の促進と地域の活性化を図るため、かつて結ばれていた旅客船の航路復活に向けた取り組みを行っています。今年度は「新しい地方経済・生活環境創生交付金」を活用し、5月3日(土・祝)から11月3日(月・祝)までの土日祝日限定で「深日洲本ライナー」の運航を実施しました。

深日港と洲本港を旅客船で結ぶことで、大阪湾を横断する広域観光ルートを形成し、観光振興や交流人口の拡大につなげることを目指しています。地域の観光・商工・交通事業者との連携を図りながら、官民が一体となって事業を展開することで、航路の価値を高めながら、地域活性化に向けた取り組みを推進しています。

また、今年度からは、関西国際空港を利用するインバウンド観光客の誘致を強化するため、インバウンド関連データや統計情報を活用したマーケティング調査を実施しています。あわせて、SNSやデジタルメディアを活用、インフルエンサーと連携するなど、効果的なプロモーション手法の検討を行い、事業の認知度向上と航路の利用促進に向けた取り組みを進めています。

今後もより多くの方々に船旅の魅力を知っていただき、深日洲本航路をご利用いただけるよう取り組みを推進します。

●令和7年度運航実績

【運航期間】

2025年5月3日(土・祝)～2025年11月3日(月・祝)：63日間
※土日祝日限定運航(お盆期間を含む)

【乗船者数】

合計10,134人(1日あたり160.9人)



●各種SNS



公式ホームページ



X (旧Twitter)



Instagram

他港視察(静岡県清水港)を実施しました！

(一社)大阪府港湾協会

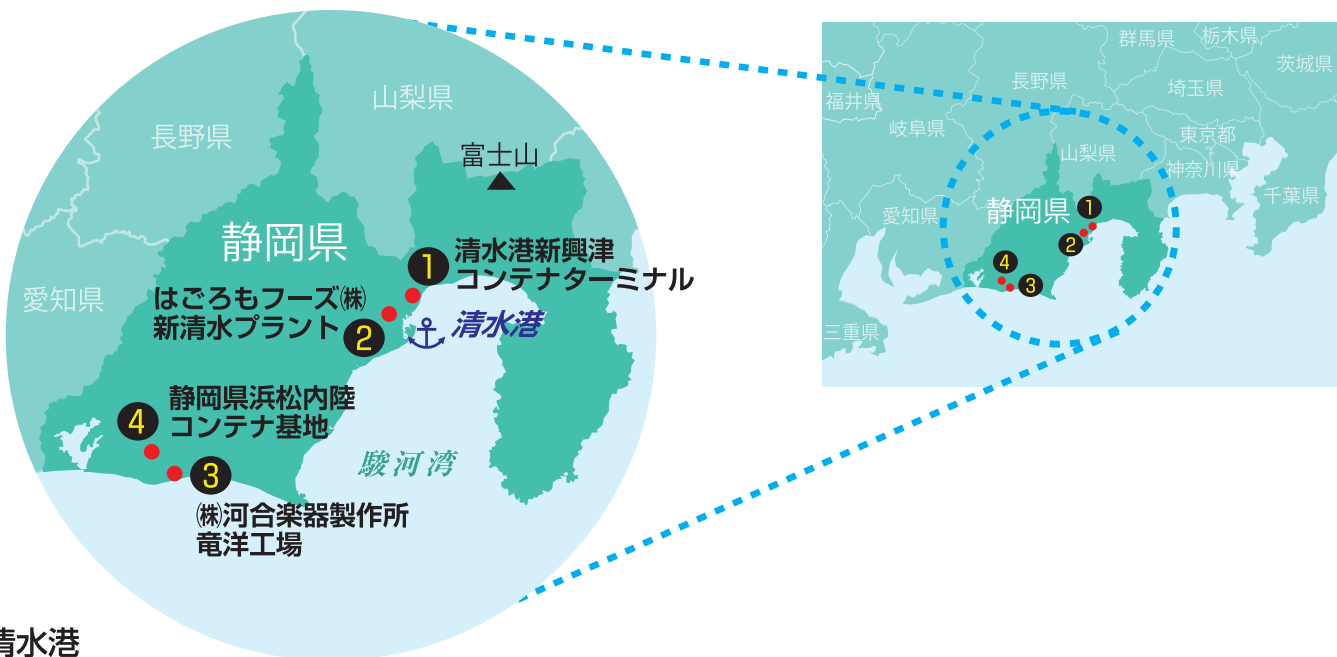
令和7年11月6日(木)～11月7日(金)の日程で、静岡県清水港を訪問しました。

○11月6日(木)

新大阪(集合)⇒静岡駅⇒清水港新興津コンテナターミナル⇒はごろもフーズ(株)新清水プラント

○11月7日(金)

(株)河合楽器製作所竜洋工場⇒静岡県浜松内陸コンテナ基地⇒浜松駅⇒新大阪駅(解散)



清水港

清水港は、全国に18港ある国際拠点港湾の一つであり、世界の主要港を22の定期航路で結ぶ国際貿易港です。オートバイ・楽器・自動車部品などの輸出港として、またLNG・紙パルプ類・冷凍マグロなどの輸入港として国際貿易港としては中枢国際港湾に次ぐ位置を占めています。

また、日本の中央に位置し、充実した交通ネットワークにより、日本全国どこへでもアクセスが良いため、交通の要衝として栄えてきました。現在では、世界とつながるコンテナ船定期航路、国内輸送においても全国を結ぶRORO船航路、危険物・再生資源もはこべる「はこ廻船」航路など、多様な貨物に対応した総合港湾となっています。

第1日目(11月6日(木))

1 清水港新興津コンテナターミナル



概要説明の様子

新興津コンテナターミナルは、水深15m 延長700mの耐震強化岸壁で、コンテナ船の大型化に対応した23列対応の耐震・免振ガントリークレーンを配置した高規格なターミナルです。24時間年中無休の対応、迅速・効率的な貨物の搬出入、インセンティブ(公共料金減免)など、顧客の視点からのサービスの充実に努められています。



概要説明の様子

室内では、プロジェクターや足元に広がる地図を用いて概要説明をしていただきました。展望台からコンテナターミナルの見学や、清水港フェリーターミナルの見学、フェリーターミナルに隣接する「河岸の市」などを見学させていただきました。説明後も担当者様に、参加者様が熱心に質問されている様子が見受けられました。



現場視察の様子



2 はごろもフーズ(株)新清水プラント

2020年に最新鋭の機械を導入し、「安心と安全を追求し、人と環境にやさしい最先端の工場」をコンセプトに4階建ての“新清水プラント”を設立。自然災害から機械を守るため上部階に工場が設置されていました。IOTを活用した自動化したシステムで製造工程の省人化を図った3階の工場では、検査、計量、調理、配送までの工程を行っていました。安全な製品を提供するために、最新のチェックが行われています。体験コーナーでは、エアシャワーや缶詰の重さ当てクイズ、X線透過検査機を使って缶詰めの中に異物が混入していないかを調べる体験をしました。参加者様も終始楽しそうに参加されていました。



概要説明の様子



3 ㈱河合楽器製作所竜洋工場

竜洋工場は、「この手で世界一のピアノをつくりたい」という創業者 河合小市の夢を実現するため、1980年に完成しました。工場では、熟練職人たちの「匠の技」と最新の「科学の技」が共存し、一台一台のピアノに職人が真摯に真剣に向き合い、グランドピアノ・アップライトピアノが生産されています。出来上がったピアノは竜洋工場でバンニングし、清水港から世界に輸出されます。

工場敷地は、50%が緑地化されており、工場の従業員によって植樹された約3万本の木々が長い歳月を経て成長し、「森の中の緑、工房」と呼ばれる緑豊かな美しい工場となっています。



説明の様子



4 静岡県浜松内陸コンテナ基地

静岡県浜松内陸コンテナ基地は、東名高速道路、国道1号線、国道150号線などにより、清水港、御前崎港、名古屋港など県内外の港湾と結ばれているため、海上輸送コンテナを使って様々な貨物を安全かつ迅速に輸出入することが可能な「内陸の国際貿易港」です。港がない静岡県西部地域の工業製品の輸出増加と国際海運のコンテナ化に対応するため、昭和46年（1971年）6月に東名高速道路浜松インターチェンジへ隣接して、全国初の内陸の国際貿易港として供用を開始しました。県西部地域で生産された輸送機器や楽器などの工業製品は、浜松内陸コンテナ基地から清水港や御前崎港などを経由して世界各地へ輸出されるとともに、アジアや北米などからの輸入貨物が浜松内陸コンテナ基地へ搬入されています。



概要説明の様子



参加皆様より、「普段知ることのない情報に耳と目で触れることができ良かった」や「先方の説明もわかりやすかった」「個別でも丁寧に説明いただいた」など、参加してよかったというお声をたくさん聞くことができました。事務局一同これからも、より一層尽力してまいります。今後ともよろしくお願いいたします。

ASIA FRUIT LOGISTICA 2025に参加しました

大阪港湾局 計画調整部 振興課 利用促進担当

大阪港湾局では、堺泉北港を核とし阪神港を通じて農産物等の輸出拡大を図る取組（産直港湾）を進めており、その取組の一環として、令和7年9月3日(水)～5日(金)に香港で開催された ASIA FRUIT LOGISTICA 2025 に産直港湾協議会として参加しました。

ASIA FRUIT LOGISTICA は、生鮮野菜・果実に特化したアジア唯一の B2B の国際専門見本市であり、今年は43の国・地域から760社以上が出展し、70カ国を超える地域から14,000人を超える来場者があるなど、大変盛況なイベントとなりました。

展示会場では、同協議会にも参加いただいている株式会社ローヤルと株式会社上組が共同出展したブースの一部をお借りして、堺青果センターの取扱品目であるかんしょ（宮崎県産）や、大阪府が大阪産（もん）としてPRに力を入れている水なす（大阪府産）の展示・試食と併せて関連するリーフレットやチラシ等を配布しました。加熱調理したかんしょ、浅漬け調理した水なすともに多くの来場者に興味を持っていただき、様々な国・地域の方々に試食いただいたことで、調理方法や味付け等、海外と日本の食文化の違いを実感し、今後より効果的なPRを行うためのヒントを得ることが出来ました。

また、かんしょ・水なすの試食と併せて、会期中、国内外出展企業（荷主・船会社等）のブースを訪問し、堺泉北港の特徴や取組等について説明し、意見交換・情報共有を行いました。

堺泉北港の堺青果センターには、国内有数の農産物の集荷・販売拠点である大阪市中央卸売市場・大阪府中央卸売市場等を通じて全国の産地から多種多様な品目の農産物が集荷され、阪神港等を通じて農産物が輸出されています。アジアをはじめとする海外からの農産品等の需要に応えるためにも、今後も高品質な農産物の輸出の拡大を図る取組を行ってまいります。



会期中の様子



Seatrade Europe 2025に参加しました

大阪港湾局 計画調整部 振興課 利用促進担当

大阪港湾局では、オール大阪として「お断りゼロ」の実現を目指し、府市一体となって堺泉北港・大阪港へのクルーズ客船誘致に取り組んでいます。取組の一環として、令和7年9月10日(水)から12日(金)にドイツ連邦共和国 ハンブルクで開催された国際クルーズ見本市(Seatrade Europe 2025)に参加しました。

同見本市では日本各地から16港の関係者が集まり、「JAPAN I」「JAPAN II」「JAPAN III」として各ブースに割り振られたカウンター及び商談ブースを利用し、各港のPRを実施しました。大阪港湾局は、熊本、新潟、京都、沖縄の4港と連携して「JAPAN II」として出展し、ブース内のミニカウンターで大阪みなと(大阪港・堺泉北港)のPRのほか、大阪府内の観光スポットのPRを行いました。

9月10日(水)と11日(木)の午後には、JAPAN ブースの合同イベントとして、「Taste Japan Hour」と題したおもてなしイベントを実施し、「JAPAN II」ブースでも参加する自治体にちなんだお酒やジュースなどを来場者に振る舞いました。大阪みなとのブースでは梅酒を3種類用意し、来場者に試飲していただきました。梅酒の甘さに戸惑っている方もいらっしゃいましたが、概ね好評で、多くの方に楽しんでいただきました。両日とも各港のブースにたくさんの方が来場され、賑わいを見せていました。

商談ブースでは、随時クルーズ船社とのマッチングや商談を行い、寄港地選定に関わる各クルーズ船社のキーパーソンに堺泉北港及び大阪港の魅力をPRしました。対面で行うことで、相手の反応を見ながらより具体的な話をする事ができ、効果的なセールスが実施できました。

3日間の出展を通じ、船社のキーパーソンと直接顔を合わせてより深いコミュニケーションを取ることで関係性の構築を図ることができたほか、他港湾の担当者ともネットワークができ、誘致活動の最新情報や港間連携の情報を入手することができました。また、ハンブルク港は世界有数のクルーズ客船の発着港として知られており、海外港のクルーズポートとしてのスケールの大きさも、肌で感じることができました。

大阪港湾局では今後も引き続き、府市連携による大阪みなとへのクルーズ客船の誘致を図ることにより、地元市町の活性化や大阪の観光振興に貢献してまいります。



大阪みなとのミニカウンター



見本市会場



JAPAN ブース合同イベントの様子



商談の様子

『港湾協会セミナー』『港湾ビジネスのための貿易金融とリスク対策入門』を開催します (ご案内)

(一社)大阪府港湾協会

本セミナーは、会員の皆様を対象に、港湾における貿易金融の基礎知識および各種リスクへの対応力を高めることを目的として開催いたします。

港湾ビジネスのための貿易金融とリスク対策に関する基礎知識は、貿易実務に従事していない方にとっても港湾をより深く理解する機会となりますので、多くの皆様のご参加をお願いいたします。

開催要領

- 開催日時：令和8年5月14日(木) 14時～17時
- 講師：株式会社関西みらい銀行 国際業務室
- 参加費：無料
- 定員：100人
- 場所：堺泉北港ポートサービスセンタービル2階「きららホール」(泉大津市なぎさ町6-1)
- 申込方法：会員の皆様にメールでご案内します。

【お問合せ先】 (一社)大阪府港湾協会事務局 セミナー担当
電話／0725-20-0690 メール／kyoukai@fship.or.jp

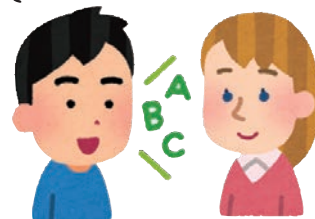
当協会では、令和8年度から会員の皆様の活動に貢献し、府営港湾の振興を図るため、今回のセミナーを第一弾として、さらなるセミナーの開催や港湾物流に関する調査など各種事業の充実に努めてまいりますので、会員の皆様の引き続いてのご理解、ご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

【受講者募集中(無料)】ビジネス英語セミナーに参加しませんか？

堺泉北港港湾振興連絡協議会

港湾関連企業を対象にビジネス英語セミナー(基礎編・応用編)を開催します。ビジネスですぐに活用できる実践的な内容で好評を得ています。4日間ともに、セミナー参加者同士の交流を通じ、楽しく学んでいただける内容となっておりますので、英語に自信のない方も、更なるスキルアップを目指されている方も、ぜひご参加ください！

基礎編では、適切な丁寧表現を使った実践的なライティング法や、ミーティング・交渉を行うための基本的なコミュニケーションスキルを。応用編では、英語での挨拶や受付応対、日程調整等のビジネス英会話の基本に加え、英語プレゼンテーションの方法を実践的に習得いただきます。



【ビジネス英語セミナー実施概要】

- 【講師】 株式会社インターグループ Michael Gray氏 及び 菊池 葉子氏
- 【日程】 各回1回のみの受講、または複数回の受講も可能です。
基礎編：2月13日(金)「英文ビジネスEメールライティング」、2月18日(水)「英語で電話・ミーティング・交渉」
応用編：2月25日(水)「ビジネス英会話 初級～中級」、3月4日(水)「英語ビジネスプレゼンテーション」
- 【開催時間/会場】
開催時間：各回とも10:30～16:30まで 会場：堺泉北港ポートサービスセンタービル2階 201・202会議室
- 【受付】 2月6日(金)まで ※期限後も空き枠があればご参加いただけますので、事務局までお問合せください。
- 【詳細】 大阪府営港湾振興Webサイト (<https://www.fship.or.jp/news/>)
- 【お問合せ先】 堺泉北港港湾振興連絡協議会事務局(大阪港湾局泉州港湾・海岸部総務振興課内)
電話 0725-21-7203 メール sakaisenboku@fship.or.jp

海のワクワク学校(磯浜見学会)を開催しました

大阪港湾局 泉州港湾・海岸部 施設管理運営課 泉南管理担当/建設・施設保全課 深日担当

令和 7 年 9 月 2 6 日 (金)、せんなん里海公園内の淡輪・箱作海岸人工磯浜で、岬町立淡輪小学校 4 年生 4 9 名を対象に、磯浜見学会を開催しました。

当日は天気も良く、「しおさい楽習館」で大阪港湾局の仕事や大阪湾の魚の話を聞いていただいた後に人工磯浜でキジハタの稚魚の放流やシューズに履き替えて、海の生物ウォッチングを体験していただきました。また、子供たちにアンケートを実施したところ、「稚魚の放流や生物の観察が楽しかった」という意見や、また全員が「このような見学会の活動を続けてほしい。」という回答でした。

磯浜見学会に参加した子どもたちの笑顔を通じて、命の尊さや海の大切さを伝える活動を続けることが必要だと改めて感じました。



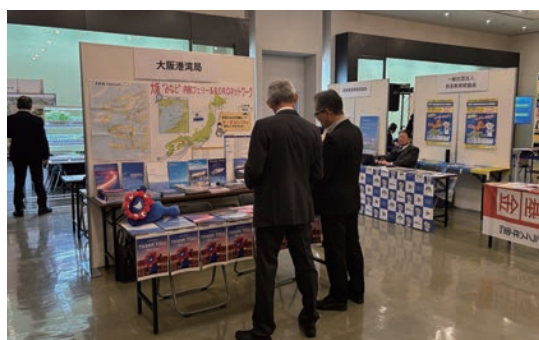
大和ビジネス交流会2025に出展しました

大阪港湾局 計画整備部 振興課 利用促進担当

令和 7 年 1 1 月 1 4 日 (金)に奈良県の大和高田商工会議所が主催されている「大和ビジネス交流会 2 0 2 5」に、大阪港湾局としてPRブースを出展いたしました。

大和高田市を拠点に活動されている企業を中心に、食品関係から障害福祉事業所まで多様なブースが出展されており、参加者と情報交換等の交流を行いました。

大阪港湾局のブースでは、作成した内航フェリーやRORO船の定期航路地図や大阪港湾局の冊子等を用いて、興味を持たれた



説明の様子

た事業者様へ説 大阪港湾局出展ブース

明を行い、今後陸上輸送から海上輸送への転換など大阪“みなと”の利用に興味をもっといただく貴重な機会となりました。

また、並行して隣の会場では、トヨタ自動車のマネジメントを学べるビジネスセミナーや、消費者心理に基づくお店づくりセミナーなど多様なセミナーも行われ、多くの参加者の姿がみられました。

今後も大阪港湾局では、府市一体となって、大阪“みなと”の利用促進につながるよう取組を続けてまいります。

堺旧港親水護岸を活用したイベント「乙姫の休日。in 堺旧港2025」を開催しました

堺市 建築都市局 都市整備部 都心未来創造課

美しく整備された階段式の親水護岸で潮風を感じながら、地元堺を中心とした様々なジャンルのこだわりグルメや音楽を楽しめるイベント「乙姫の休日。」を今年度も開催しました。堺旧港エリアでは令和7年3月に海辺の眺望を楽しめる歩行者デッキやホテル、イルカふれあい施設、レストランなど新たな魅力・交流の場として「ポルトマーレ」が南側エリアにグランドオープンしました。さらに、令和7年4月～10月の大阪・関西万博開催期間中は、堺旧港と夢洲を結ぶ海上交通の運航により、堺旧港エリアへの来訪者増加が見込まれることから今年度の「乙姫の休日。」は船着場・ポルトマーレのある南側の護岸エリアで春と秋の2回、時間帯を変えて計4日間開催しました。

春は5月9日（金）・10日（土）の2日間、美しい夜の堺旧港を楽しめる15時～21時の時間で開催し、合わせて2,598人の方に来場いただきました。初日は平日で雨天ということもあり来場者には恵まれませんでした。土曜日には2千人を超える多くの来場者がありました。来場者アンケートでは半数以上の方が2時間半以上滞在されており、堺旧港の豊かな景色を眺めながらグルメや音楽と共にゆったりとした時間を過ごしていただけたと考えています。



秋は開催時間を早め10月4日（土）12時～19時、5日（日）11時～18時の2日間開催しました。両日とも雨天での開催でしたが、2日間で3,893人と多くの方に来場いただきました。約25店舗もの様々なグルメやステージでの音楽に加え、プレジャーボート乗船体験や旧堺燈台の内部特別公開など堺旧港の地域資源を生かしたコンテンツを実施し、さらにはミyakumiyakuによる万博PRや堺旧港エリアで公演を行っていたさくらサーカスによるミニステージなど、来場者の方に堺旧港の魅力を感じながら楽しいひと時を過ごしていただきました。



堺市では、「ポルトマーレ」や北側エリアに予定している交流空間などによる「海辺を生かした新たな魅力の創出」に加え、護岸を活用したイベント「乙姫の休日。」の開催を通じた「堺旧港の魅力の発信、認知度の向上」など、堺旧港エリアの活性化に向けた取組を進めています。

堺泉北港地元港湾振興会合同視察を実施しました

高石港湾振興会

堺泉北港地元港湾振興会（堺・高石・泉大津）は、令和7年10月14日（火）～15日（水）の日程で、北海道室蘭港の視察を実施しました。

この視察は、堺泉北港が立地する堺市、高石市、泉大津市の港湾振興会が、堺泉北港の振興と会員相互の親睦を目的として、毎年合同で実施しているものです。室蘭港は、明治5年の開港以来、北海道の開発と日本の経済発展に重要な役割を果たしてきた国際拠点港湾です。北海道開発局室蘭港湾事務所の方々のご案内のもと2班に分かれ、業務艇に乗船してのコンテナ埠頭、フェリー埠頭等の見学と、同じく北海道開発局が整備した追直漁港のホタテの養殖基地である沖合人工島の見学を交互に実施しました。

2日目は、小樽市の市街地と北広島市のエスコンフィールド HOKKAIDO を視察し、北海道の巧みな観光振興について学びました。

今回の視察を堺泉北港の振興と港湾と一体で取り組む魅力的なまちづくりに活かしてまいりたいと考えております。ご参加いただきました方々、ご協力いただきました方々には、この紙面をお借りしてお礼申し上げます。



長松海岸美化運動を実施しました

大阪港湾局 泉州港湾・海岸部 施設管理運営課 泉南管理担当/建設・施設保全課 深日担当

令和7年10月18日（土）に岬町の長松海岸美化運動を実施しました。当日は、岬町副町長も出席し、地元ボランティア団体、大阪府港湾・海岸ボランティア『さざなみ会』、付近住民のみなさん、岬町職員のみなさん等にご協力いただき、総勢58名で大阪府内に残る数少ない自然海岸である長松海岸をきれいにすることができました。

今後とも、このような活動を継続的にを行い、地元の皆様とともに、安全できれいな海岸づくりに取り組んでまいります。



泉大津フェニックスで野外イベントが開催されました！

大阪港湾局 泉州港湾・海岸部 総務振興課 総務振興／事業企画・防災課 地域調整担当

大阪港湾局、泉大津市、泉大津商工会議所、大阪湾広域臨海環境整備センター、堺泉北埠頭株式会社で構成する「泉大津フェニックスにぎわいづくり委員会」では、野外コンサートをはじめ各種イベントの開催サポートや、「泉大津フェニックス」のPR活動等に取り組んでいます。

【野外コンサートについて】

令和7年10月、泉大津フェニックスにおいて音楽イベント「HEY-SMITH Presents OSAKA HAZIKETEMAZARE FESTIVAL 2025」が開催されました！当日は少し雨が降りましたが、雨空を吹き飛ばすほどの盛り上がりを見せました。

本委員会では、泉大津フェニックスのイメージアップに向け、廃棄物の最終処分場としての泉大津フェニックスに関するクイズを実施し、オリジナルタオルを配布しました。

また、会場周辺の動線整備や周辺の事業者様等への情報発信を行い、イベントの実施が事業活動の妨げとならないよう、安全面に配慮した環境づくり等に取り組んでいます。

引き続き、泉大津フェニックスの知名度向上・にぎわい創出に向けた取組みを進めて参ります。



ブースの様子

◆10月25日(土)、26日(日)

HEY-SMITH Presents OSAKA HAZIKETEMAZARE FESTIVAL 2025 (主催:株式会社グリーンズコーポレーション)

第52回「堺港まつり」を開催しました

堺港湾振興会



堺港湾振興会 堀畑 浩重 会長挨拶

令和7年10月26日(日)、第52回「^{みなと}堺港まつり」を堺出島漁港「とれとれ市」会場において開催いたしました。当日は時折雨の降るくもり模様でしたが、多くの方々にご参加いただき、楽しんでいただきました。

「^{みなと}堺港まつり」は、南蛮貿易などで発展した堺の港の歴史を市民の皆様を紹介し、海の恩恵に感謝し親しんでいただくために毎年開催しています。

堺海上保安署の巡視船「しづかぜ」による巡視船体験航行や漁船による堺港遊覧は毎年大好評です。乗船された皆様には、巡視船「みのお」による放水展示等をご覧いただき、堺泉北港の美しい景色を楽しんでいただきました。

その他にも、ステージでは大道芸やバルーンショー、迫力ある和太鼓の演舞などが行なわれ、会場は大いに盛り上がりました。

まつりの最後には、阪九フェリー(株)泉大津支店様からご提供いただいたフェリー乗船券や阪南倉庫(株)様からご提供いただいた毛布など多くの景品を用意しビンゴゲーム大会を楽しんでいただきました。



堺海上保安署巡視船「みのお」の放水展示

堺市漁業協同組合連合会や堺海上保安署、堺税関支署、(一社)大阪府清港会をはじめ、多くの関係機関・団体のご支援、ご協力をいただきました皆様には厚く御礼申し上げます。

今後も、より一層楽しんでいただける「^{みなと}堺港まつり」をめざしてまいります。

高石港湾振興会は高石市の全小学4年生に向けて港湾施設見学会を実施しました

高石港湾振興会

高石港湾振興会では、毎年、高石市内の小学校の授業の一環として4年生を対象に、堺泉北港の港湾施設見学会を実施しています。令和7年度は、昨年度のRORO船と大阪港湾局巡視船「はまでら」に加え、新たな取り組みとして、阪九フェリー株式会社にご協力をいただき、堺泉北港に停泊中の阪九フェリーの船内見学を実施することができました。

阪九フェリーの見学会は、10月8日(水)に行われ、市内全7小学校中2校の4年生150名が、見学しました。

堺泉北港に入港する2隻のうち、今回は「ひびき」を見学しました。ターミナルから人道橋を渡って船内に入り、長い廊下を抜けると5階から7階まで吹き抜けになっている開放的なロビーに着きました。客室や食堂、露天風呂など、次々に登場する船内設備を生徒たちは探検するように楽しく見学しました。

その後、大型の貨物を積載できる駐車場の階に降り、トレーラーが貨物をけん引して乗船し、切り離して設置する様子を間近で見学しました。船内で正確に駐車し、荷物を固定する技術に生徒たちは見入っていました。最後は、駐車場内からバスに乗り、そのまま自動車が下船するルートで帰途につきました。フェリーの乗組員と乗客の両方の視点から見学することができ、たいへん充実した見学会となりました。



阪九フェリー船内の様子



RO-RO船操舵室

RO-RO船を背景に、満面の笑みで集合写真を撮っている様子からとても充実した見学会となったことが見て取れました。

大阪港湾局巡視船「はまでら」での港湾施設見学会は、10月6日(月)・8日(水)・10日(金)の3日間に分かれて行なわれ、3校の4年生250名が海上から堺泉北港を見学しました。送迎バスから下車した生徒たちは大阪港湾局前の栈橋に向けて歩きました。船内では、ライフジャケットを着用し、堺泉北港の施設や船などの説明をしっかりと聞いてくれました。船が徐々に進むにつれて、大きな船や明石海峡大橋などを見ることができ、生徒たちはとても喜んでいました。特に、目を輝かせていたのが、大阪・関西万博の会場である夢洲にうっすらと大屋根リングをみることができた時です。遠足で行ったことがとても楽しかったのか、数人の生徒は終始大屋根リングに目を向けていました。堺泉北港の施設や働く船を実際に見ることができ、たいへん充実した見学会となりました。

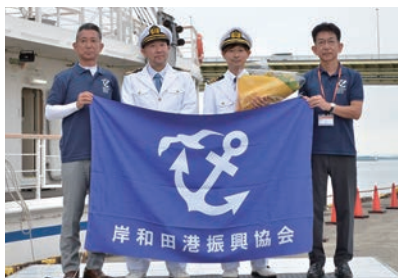


はまでら船内の様子

今回、実際に旅客用として活躍している阪九フェリーや物流現場で活躍するRORO船を見学できたことで、旅客輸送や物流について知ることができ、生徒にとって忘れ得ない思い出になったことでしょうか。また、巡視船「はまでら」に乗り堺泉北港を巡れたことは港湾や船舶に興味を持つ良いきっかけになったのではないのでしょうか。大阪港湾局、阪九フェリー株式会社、大王海運株式会社、水上警察をはじめ、ご協力をいただきましたみなさまに、この紙面をお借りしお礼申し上げます。今後も引き続き、堺泉北港港湾施設見学会を実施し、生徒たちが港湾や船舶、物流に関する仕事に興味を持ち、その中から将来、港湾事業を支える担い手が誕生することを願っています。

岸和田港まつりを開催しました！

岸和田港振興協会



オープニングセレモニーの様子

岸和田港振興協会では、令和7年10月26日(日)に岸和田港まつりとして、日本丸(レプリカ船)の体験クルーズを実施しました。当日は朝からあいにくの空模様となり、午前中は小雨が降ったり止んだりを繰り返していたため、関係者は開催可否を気にかけながらも予定通りの開催ができるよう祈りながら準備を進めました。関係者一同の祈りが通じたのか、幸いにも第一便の出航とそれに先立ち実施したオープニングセレモニーの時間帯には雨があがり、会場には青空がのぞく場面もありました。オープニングセレモニーでは日本丸の船長・機関長へ花束の贈呈と岸和田港振興協会フラッグの貸与を行い、第一便に乗船の皆様とともに航海の安全を祈りました。

日本丸(レプリカ船)体験クルーズは、岸和田市民(在住・在学・在勤)の方々を対象に、1便当たり約50分(全3便)の航行時間で実施し、各便定員の400人を超えるたくさんのご応募をいただきました。幸い、3便とも出航の時間帯には雨が弱まったため、出航を知らせる銅鑼の音が鳴り響き、色とりどりの紙テープが岸に向け投げられ、港まつりでは恒例となっている白いハトの放鳥で華やかな出航となりました。乗船された皆様は、岸和田の産業を支える港湾エリアを海の上から大迫力で観覧頂きながらガイドによる岸和田の港湾の紹介や、日本丸(レプリカ船)に関する紹介に興味深く耳を傾けられていました。乗船中、外は雨でも、船内は和やかな雰囲気であち、笑顔が溢れていました。

開催を予定しておりましたが、海上保安庁巡視船「よしの」の船内見学会は、海上保安庁の業務の都合により中止となってしまいましたが、当日は会場に、海上保安庁のPRブースを出展いただきました。PRブースでは、海上保安庁業務の紹介や、海上保安官の制服(子ども用)を着用してのマスコットキャラクター「うみまる」君との記念撮影などが行われ、お子様を中心に大変好評でした。

また、今回初めての試みとして、体験クルーズにご参加の皆様を対象としたアンケートを実施し、「普段見る事ができない海上からの景色はとても新鮮だった」「楽しくてあっという間に時間が過ぎた」など、大変うれしいお声をいただきました。寄せられたお声の一つ一つには、地域の方々の海や港湾への関心と岸和田港まつりに対する期待が込められており、これらの貴重なご意見を今後に活かし、より多くの方に愛される催しへとつなげていきます。

また、今年の岸和田港まつりは、令和8年度に大阪府で開催される「第45回全国豊かな海づくり大会」の1年前プレイベント「魚庭(なにわ)の海まつり」や「岸和田市農業まつり」「岸和田商工会議所物産展」をはじめとした



日本丸(レプリカ船)体験クルーズの様子



海上保安庁のPRブース

様々なイベントとの同日開催とすることで、岸和田市全体が活気あふれる一日となりました。「第45回全国豊かな海づくり大会」では、岸和田市の臨海部が全国から注目を浴びることとなります。岸和田港振興協会としても、岸和田市の良さを全国に発信していきたいと考えています。

港の魅力を次世代へとつなぐ岸和田港まつりが、今後も市民の皆様に関われる行事として発展していけるよう、今後とも港湾振興に努めてまいります。

第45回全国豊かな海づくり大会～^{なにわ}魚庭の海おおさか大会～ 1年前プレイベント「^{なにわ}魚庭の海まつり」を開催しました！

第45回全国豊かな海づくり大会大阪府実行委員会

令和8年11月14日(土)15日(日)に、大阪府で初めて全国豊かな海づくり大会が開催されます。その1年前プレイベントとして、令和7年10月26日(日)に次のとおり「^{なにわ}魚庭の海まつり」を開催しました。

【式典行事】



式典行事を岸和田市の南海浪切ホール祭りの広場で開催し、公募で決定した大会テーマ「響かせよう 豊かな海の ハーモニー」の書を書家の逢香氏にご披露いただきました。また、大会をイメージした法被を着たさかなクンも駆けつけ、大阪府知事とともに、大阪湾の恵みを表現した「^{なにわ}魚庭の海づくり井」のPRを行いました。

その後、さかなクンや漁師の方々によるステージトーク、大阪

湾で獲れた魚を使った漁師飯の試食会や「^{なにわ}魚庭の海づくり井」の販売、海ごみを使ったワークショップ、大阪湾を守るための活動をされている団体のブース出展などで盛り上がりました。

また、会場周辺では農業まつりや物産展等も同時開催され、多くの方にご来場いただきました。

【海上歓迎・放流行事】

海上歓迎・放流行事を泉佐野市の府営りんくう公園シーサイドウォークで開催し、豊かな海を次世代につないでいく想いを込め、吹奏楽や和太鼓の演奏に合わせ、約100隻の漁船による勇壮な大船団パレードや大阪の主な漁法の紹介、栽培漁業を代表するキジハタとヒラメの稚魚の放流などを実施しました。

また、会場に隣接するりんくうアイスパークでは、「泉佐野うみ祭」として、さかなクンやキッズダンスのステージイベント、大阪湾で獲れた魚介類や地元農産物の販売等を行いました。



本年開催の全国豊かな海づくり大会を契機に、大阪湾は「^{なにわ}魚庭の海※」と呼ばれる豊かな海であること、大阪湾の環境はたくさんの人々の努力や森・里・街・川・海のつながりにより守られていることを多くの方に知っていただき、海の恵みを享受し続けられるよう、様々なイベントの企画や情報発信等に取り組んでいきますので、どうぞご期待ください！

※ 大阪を示す「なにわ」の語句については、魚に起源を持つ魚場＝魚庭(なにわ)が語源であり、「茅渚(ちぬ)の海」とともに、大阪府沿岸域が魚介類の豊富な海であったことに由来するという説があります。

堺泉北港・阪南港でテロ対策訓練を実施しました！

大阪港湾局 泉州港湾・海岸部 事業企画・防災課 危機管理担当

堺泉北港及び阪南港の保安を担う各港保安委員会（大阪港湾局、海上保安署、警察署等により構成）は、令和7年度の『テロ対策総合訓練』を、11月6日（木）に堺泉北港で、11月25日（火）に阪南港でそれぞれ実施しました。

本訓練は、両港におけるテロ対策として、有事の際の各機関における対応措置、手順等を確認し、事案対処能力の向上を図るとともに、関係機関相互の連携・協力体制を強化し、保安体制のさらなる深化を図ることを目的として毎年実施しています。

訓練では、内閣官房から「入港する貨物船にテロリスト関係者が乗船している可能性がある。」との連絡が入ったことを想定して行い、テロリストの入国及び不審物の持ち込みを水際で阻止するべく、各機関が連携して対応にあたりました。

まず海上では、逃走する小型船を海上保安署の巡視艇と大阪水上警察署の警備艇が追跡し、連携して進路規制等を実施するとともに、テロリストからの銃撃を受けながらも威嚇射撃を行い、テロリストの身柄を確保しました。

陸上では、港湾局が出入管理の強化を行うとともに、着岸した貨物船の船内検索により発見された不審物や乗組員の手荷物について、大阪税関がエックス線車両を用いて検査を、大阪検疫所が乗組員の検疫を、大阪出入国在留管理局が入国審査を実施しました。その後、入国審査中に逃走を図ったテロリストと、制限区域内に侵入したテロリスト支援者らを警察官が制圧し身柄を確保しました。

各港保安委員会では、今回の訓練成果をもとに、より一層の保安体制の向上を目指してまいります。

最後に、訓練に際しまして、タグボートをご提供いただきました大阪府タグ事業協同組合や、当日の荷役にご配慮をいただきました事業者をはじめ、関係機関の皆様にはご協力いただいたことに感謝申し上げますとともに、引き続き港湾保安対策へのご理解とご協力をいただけますよう、よろしくお願い申し上げます。



堺泉北港での開会式



阪南港での閉会式



不審船への放水規制



海上でのテロリスト制圧



手荷物の検査、乗組員の検疫及び入国審査



陸上でのテロリスト制圧

岩手県釜石港のポートセミナーに参加しました

大阪港湾局 計画調整部 振興課 利用推進担当/堺泉北埠頭株式会社

令和7年11月27日(木)に、岩手県北上市内で開催された「釜石港コンテナ航路セミナー 2025 in きたかみ」に参加しました。

通算13回目の開催となるセミナーは、250人を超える参加者で盛況でした。第1部のセミナーでは、大阪府港湾協会竹内会長(堺泉北埠頭(株)顧問)が来賓として紹介を受けました。釜石市長より行われた主催者挨拶及び釜石港の紹介のプレゼンテーションでは、大阪府から岩手県へ譲渡されたガントリークレーンや、大阪府と釜石市との絆についても触れられました。第2部の交流会では、岩手県内企業や各港湾関係者と意見交換を行いました。



釜石港とガントリークレーン(写真中央)

セミナーに先立って、釜石港と堺泉北港の現況について県内の物流会社と意見交換を行いました。また、会場入り口に設けられた大阪港湾局と堺泉北埠頭(株)のブースにおいて、資料の配布や堺泉北港のPRを行いました。

今後も釜石港との関係を深めながら、両港の利用促進につながるよう、取組を進めてまいります。



第1部セミナーの様子



第2部交流会の様子



意見交換の様子

大阪府内で広大な事業用地をお探しではありませんか？

大阪港湾局 泉州港湾・海岸部 総務振興課

大阪港湾局では、府営港湾内にある『陸海空の交通アクセスに優れた広大な事業用地』を事業者様向けにご用意しております。今後、公募を予定している事業用地は、泉大津市夕風町にある泉大津フェニックス及び岸和田市岸之浦町にあるちきりアイランドの2区域です。**※事業内容に条件がございます。**

大阪港湾局(府営港湾)の公募予定地情報につきましては、下部記載のホームページに掲載しております。ぜひこの機会に大阪府沿岸部の利便性を活かした事業展開をご検討ください。

■ 泉大津フェニックス



■ ちきりアイランド



■ 位置図(阪神高速4号湾岸線すぐ!)



■ 大阪港湾局(府営港湾)における公募予定地情報

詳細は右記のQRコードもしくは下記のURLよりご確認をお願いいたします。

URL: <https://www.pref.osaka.lg.jp/o150010010/kowan/kigyoyuchi/koboyotei.html>



○お問い合わせ 大阪港湾局 泉州港湾・海岸部 総務振興課 TEL:0725-21-7203(企業誘致担当)

めざせ、海上保安官

大阪海上保安監部 堺海上保安署

海上保安庁では、「海上保安官」を募集しています。
海上保安官は海の安全と治安を守るため、巡視船や航空機に乗り、海難救助や、海上警備、犯罪捜査を行うほか、航路管制や海洋観測などを行っています。

有資格者及び幅広い年齢層に受験いただける試験種類もございます。
各種採用情報の詳細は海上保安官採用サイトをご確認ください。

■ 海上保安官採用サイト

各種採用情報の
詳細は
こちらから ▶



大阪船主会のご紹介 — 歴史と未来をつなぐ、海運の知恵と力 —

大阪船主会

「大阪船主会」は100年以上の歴史を持つ業界団体（任意団体）です。大阪の港を見守り続ける存在として、長きにわたり、日本の海運業の発展と大阪を中心とした地域経済への貢献を続けてきました。日本経済の動脈として不可欠な「海上輸送」を担う船主たちが集い、互いに切磋琢磨しながら技術と知見を共有し、健全な海運業の発展を目指してきた団体です。本稿では、その歴史、活動内容、そしてこれからの展望についてご紹介します。

■ 大阪船主会の歩み：100年の歴史

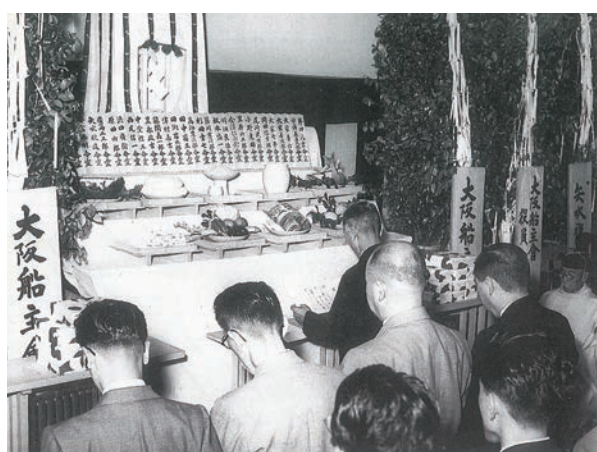
大阪は古くから「天下の台所」として、内外の物流の要衝でした。北前船、瀬戸内海航路をはじめとした内航海運はもちろん、開国後は遠洋航路においても大阪港は重要な役割を果たしており、多くの船主がこの地に集っていました。

そうした中で、関東大震災の復興資材の手当てにひと段落がついた1924年（大正13年）6月、業界の健全な発展と会員企業相互の親睦・協力体制の確立を目的として、大阪において船主業を営む20社が集い、「大阪船主会」が設立されました。戦時期に日本の海運業は壊滅的な打撃を受けました。大阪船主会も1944年（昭和19年）には会員企業数が8社に減少、苦しい時期を経験しましたが、その混乱を何とか乗り越え、戦後、船舶建造・修繕費の捻出や船員の確保など、海運業の立て直しのために大きな役割を果たしました。

また、1946年（昭和21年）には会員資格を船主のみならずオペレーター会社にも拡大し、現在まで続く大阪船主会の組織体制の礎が築かれました。1964年（昭和39年）に運輸省（現 国土交通省）が主導する「海運再建整備法」によって大手オペレーター会社が合併する直前には、会員企業数は49社にまで達しました。

設立から101年目にあたる現在は、外航・内航・曳船の船主やオペレーター会社28社が会員として所属し、今なお、時代とともに変化する多様な海運ニーズに対応しながら連携と協力を深めています。

なお、大阪船主会はその設立以来長らく専任の事務局を設置していましたが、2011年（平成23年）以降は商船三井関西支店が事務局業務を執り行っています。



創立30周年記念式典

■ 会の目的と理念：協調と自律による持続的発展

現在の大阪船主会は、「会員相互の親睦を図り、海事問題を講究し、海運の進歩発達を期する」という本会の目的を達成するために以下の活動を行っています。

- 会員相互の親睦および意見の交換ならびに調整
- 海運に関する調査、研究
- 海運に関する意見の表明（会員共通の目的のために関係諸官庁ならびに関係諸団体との懇談、要望）
- その他本会の目的を達するために必要な事項

このような活動を通じて、会員企業の企業価値の向上を支援するとともに、大阪という地域性を活かしつつ、日本全体の海運業界の発展に貢献することを目指しています。

■ 主な活動内容：知見の共有から次世代育成まで

大阪船主会の活動は多岐にわたります。以下、その代表的なものをご紹介します。

◎ 定例会・講演会の開催

海運業界は、国際情勢、物流需要、法規制、環境規制などの影響を常に受けています。大阪船主会では、年に数回の定例会において、法制度の改正や業界動向、技術革新に関する情報共有・意見交換を行っています。専門家を招いた講演会も開催し、会員の知識・知見向上を図っています。近年では、大阪“みなと”カーボンニュートラルポート（CNP）形成事業や会員企業の自動運航船の実現に向けた取組みといった時宜を得たテーマや、南海トラフ地震で想定される津波への対応といった海運にたずさわる者にとって基本的な重要テーマについても議論されています。



定例会の様子

◎ 行政・関連団体との連携

大阪船主会は大阪府港湾協会をはじめ20余りの関係団体に所属・関与し、国土交通省近畿運輸局、海上保安庁第五管区海上保安本部、大阪港湾局を始めとする様々な行政・関係団体との連携を通じて、船主やオペレーター会社としての意見を政策や施策に反映させる活動を行っています。また、港湾施設の整備や運用、安全航路の確保に関する意見交換も活発に行われています。

また、大阪港・堺泉北港・阪南港の保安委員会や保安対策協議会のメンバーとして、各港における国際テロ対策や保安の向上に貢献しています。

◎ 海運教育・人材育成支援

急激な人口減少が進む中、特に高齢化と人手不足に直面する内航船員の確保・育成と現場力の維持は喫緊の課題です。大阪船主会は将来の海運業を支える人材の育成にも力を入れています。行政・関連団体との連携を通じて、船員の安全・健康、労働環境改善の重要性を学ぶ機会などを提供するとともに、様々な広報活動等によって海運業の魅力とやりがいを次世代に伝えています。

◎ 会員相互の支援・ネットワーク形成

会員企業間の情報交換やネットワーク構築は、本会の重要な活動です。各国競争法に抵触しない範囲で、業界が抱える課題を共有し、協力して解決する場を提供しています。

◎ 住吉大社との関係

全国約2,300社の住吉神社の総本社、摂津国一之宮で大阪市住吉区に鎮座する住吉大社は海の神、海上安全の守護神として古代から崇敬されてきました。大阪船主会と住吉大社との関係も古く、大阪船主会は1938年(昭和13年)以来新年1月、さらには1941年(昭和16年)に政府が海の記念日を定めてからは7月の「海の日」前後に、住吉大社の清らかなご神前において、多くの会員が集って海上安全祈願祭を執り行い、すべての航海と船員の安全を祈願しています。



住吉大社での海上安全祈願祭後の直会の様子

■ 大阪港とともに：地域との連携

大阪港は、今日もなお西日本の物流のハブであり、コンテナ貨物、ばら積み貨物、液体貨物など多様な貨物が行き交う国内物流と国際貿易を支える重要な港です。大阪船主会の多くの会員企業が大阪港を主要拠点とし、内航・外航・港湾内の各面で港の機能を支えています。

特に、近年、港湾機能は益々高度化・多様化しています。その中で、大阪船主会と会員企業は港湾関係者と連携し、「使いやすく、安全で、環境に優しい港づくり」に貢献しています。

■ これからの展望：海運の未来へ

海運業は今、大きな転換点にあります。気候変動・カーボンニュートラルへの対応、デジタル技術の進展、多種多様な国際的地政学リスクの高まり、国内においては急速な人口減少など、課題は実に多岐にわたります。特に昨今ではいわゆる「トランプ関税」等に象徴されるような国際的な通商政策の変化にも大きな影響を受けています。

そうした中で、大阪船主会は次の100年を見据え、「持続可能な海運」、「多様性ある人材の育成」、「国内とグローバルな競争力強化」、「大阪を中心とする地域社会との共生」をキーワードに、柔軟な活動を展開していきます。

大阪という歴史と革新の交差点から、これからも大阪と日本、日本と世界をつなぐ船主・オペレーターとしての役割を果たしてまいります。

■ 最後に：海に生き、海を支える

「海に囲まれた日本」にとって、海運業は国家の命脈とも言える存在です。大阪船主会は、その根幹を支える存在としての誇りと責任、また、紆余曲折を経ながらも100年以上存続してきたという貴重な実績を胸に、これからも仲間とともに歩み続けます。

海運の未来を、ともに語り、ともに創るパートナーとして。大阪船主会は、皆様との連携・協力をこれからも大切にしてまいります。



外航船(Prima Verde)



内航船(丸岡丸)

彩りと快適を提供し、人と地球の未来をより良いものに — Color & Comfort —

DIC株式会社

DIC 株式会社堺工場について

- 操 業 開 始：1968年(昭和43)年10月
- 所 在 地：大阪府高石市高砂1丁目3番地
- 工 場 長：川崎 美幸
- 事 業 内 容：機能性合成樹脂の研究・開発・製造
- 生産製品群：水性樹脂、ウレタン樹脂、アクリル樹脂、粉体アクリル樹脂、アクリルエマルジョン等



DIC株式会社

堺工場紹介

大阪湾沿岸に広がる堺泉北臨海工業地帯は、日本の産業発展を支える重要なエリアです。その中核を担う企業の一つが、DIC 株式会社堺工場です。堺工場は1968年に操業を開始し、以来半世紀以上にわたり、合成樹脂を中心とした高機能材料の製造・開発を続けています。ここでは、堺工場の歴史、立地、製品、技術、安全・環境対策、品質保証、人材育成、地域貢献、そしてDIC グループ全体との関係についてご紹介します。



堺工場正門

創業から堺工場設立までの歴史

DIC 株式会社は1908年、川村インキ製造所として創業しました。創業者・川村喜十郎は、印刷インキの製造・販売を事業の出発点とし、当時の日本における印刷技術の発展に大きく寄与しました。1925年には有機顔料事業に参入し、1952年には合成樹脂事業を開始しました。これにより、印刷インキメーカーから総合化学メーカーへと歩を進め、事業の多角化を推進しました。

1962年には社名を大日本インキ化学工業株式会社とし、国内外での事業展開を加速しました。1968年、堺泉北臨海工業地帯の泉北1区に堺工場を開設し、合成樹脂の生産を開始しました。この工場は、当時の高度経済成長期における需要拡大に対応するための重要な拠点として位置づけられました。その後、2008年の創業100周年を期にDIC 株式会社へと社名を改めました。

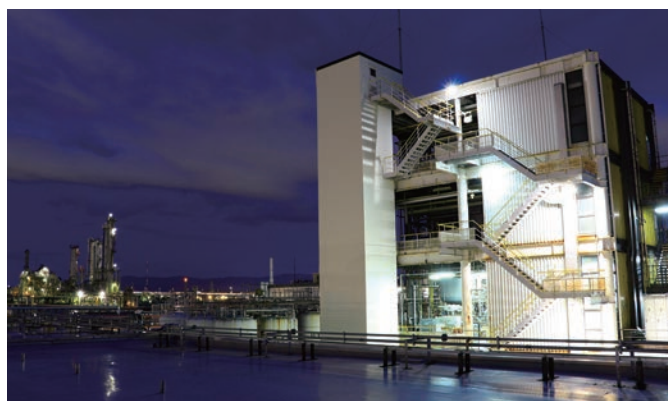
堺工場の立地と役割

堺工場は大阪府高石市に位置し、敷地面積は約200,000㎡に及びます。大阪湾を望むこの地は、原料供給や物流に優れた立地条件を備え、国内外の顧客に迅速に対応できる体制を整えています。堺泉北臨海工業地帯は、日本有数の工業集積地であり、石油化学、鉄鋼、エネルギー関連企業が集まる地域です。この立地は、原料調達や製品輸送の効率化に大きく寄与しています。

堺工場は、DICグループの国内生産拠点の中でも中核的な役割を担っています。ここで生産される合成樹脂は、自動車、家電、建材、電子部品など、幅広い産業分野で利用されており、社会の基盤を支える重要な製品です。

多彩な製品群

堺工場製造グループは、安全を最優先に生産活動を行っています。生産方式は主にバッチ生産方式を採用しており、DICの特長である多品種少量生産に対応できる柔軟性を備えています。製造現場では、多種多様な設備と化学物質を扱い、品質安定化にはロットごとの細やかな管理が必要です。単純な生産ではなく、複雑な工程管理と高度な技術が求められます。製品数は約1,700品目にのぼり、多様な製品群が生産されています。これらの製品は、直接一般消費者が購入するものではありませんが、生活に欠かせない分野で広く利用されています。



生産プラント外観

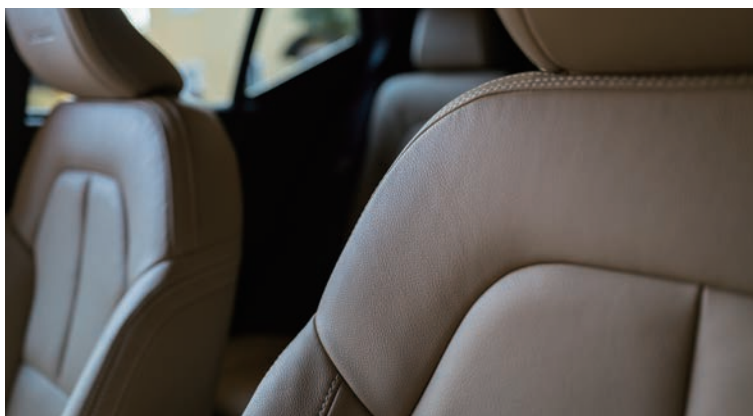


堺工場構内

環境対応製品への取組み

堺工場で生産される合成樹脂は、自動車の軽量化や燃費向上に寄与する部材、家電製品の外装や内部部品、建材の耐久性向上や安全性確保など、幅広い用途に使用されています。近年では、環境対応型製品の需要が高まっており、堺工場でも水性化、無溶剤化、バイオマス化などの技術を取り入れた製品開発を進めています。これにより、地球環境への負荷を低減し、持続可能な社会の実現に貢献しています。





安全・環境への取り組み

堺工場では、生産工程で発生する排水を適切に処理するため、バクテリアの浄化作用を利用した高度な排水処理設備を稼働させています。この設備により、排水中の有機物を分解し、環境への負荷を最小限に抑制。さらに大阪湾へ放流する前には徹底した水質管理を実施し、法規制を遵守するだけでなく、自主的な基準を設けて水質の維持向上に努めており、豊かな大阪湾の環境を守る一助を担っています。

一方、大気汚染の防止も私たちの重要な責務です。生産プロセスで発生する排ガスについては、適切な処理設備を設置・運用することで、環境への影響を管理しています。特に揮発性有機化合物(VOC)の排出については、削減対策を継続的に講じることで、地域の大気環境保全に貢献しています。

サステナブルな製品開発

近年、環境対応型製品への社会的要求はますます高まっています。堺工場では、このニーズに応えるため、サステナビリティに貢献する技術開発に注力しています。

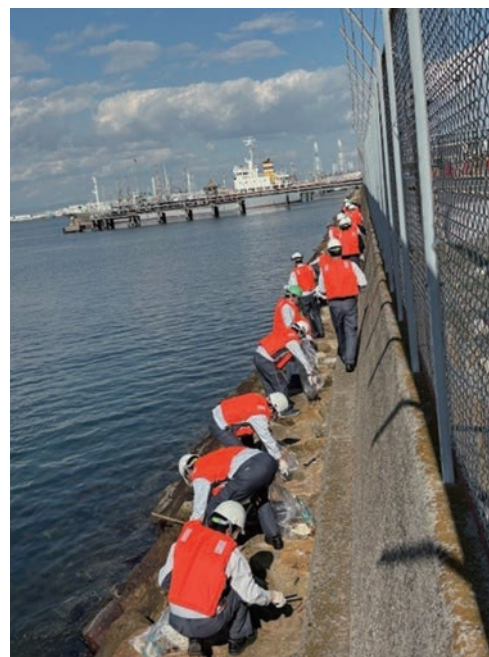
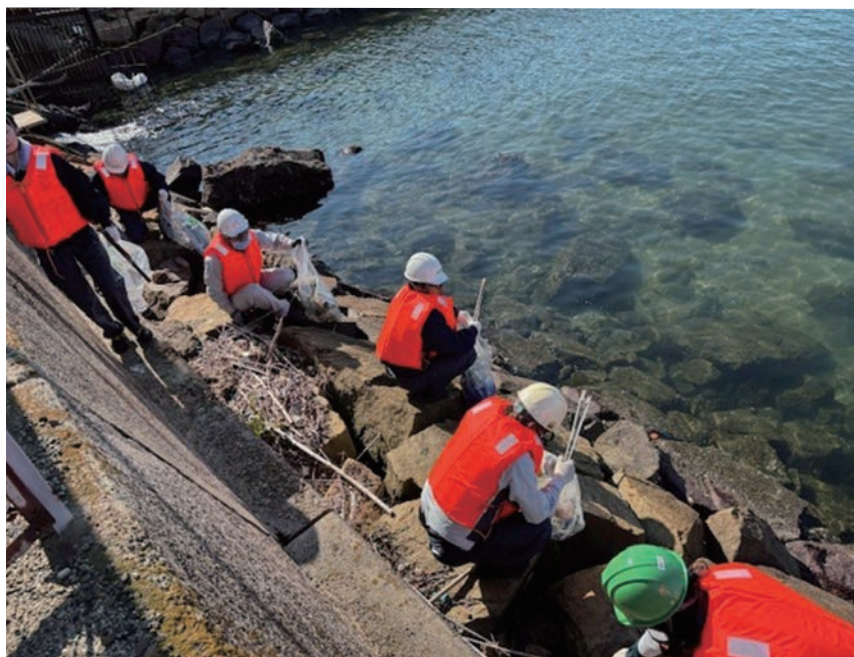
- 水性化・無溶剤化 VOC 排出量の削減に直結する水性樹脂や、溶剤を一切使用しない無溶剤型樹脂への転換を積極的に進めています。これにより、お客様の作業環境改善と地球環境への負荷低減を同時に実現します。
- バイオマス化／石油などの化石資源への依存を減らすため、植物由来などの再生可能な資源(バイオマス)を原料とした製品開発にも挑戦しています。持続可能な資源循環型社会の実現に向けた取り組みです。
- 貢献分野／これらの環境対応技術を駆使して生み出される製品は、自動車の軽量化による燃費向上、電子部品の高性能化、建材の長寿命化など、社会全体のサステナビリティ向上に貢献しています。

人材育成と職場環境

DIC グループでは人的資本を重視し、一人ひとりが個性を活かせる風土を醸成しています。堺工場では、危険予知トレーニングや法令教育を実施し、各人の業務目標の一環として国家資格取得を推進するなど、人材育成に力を入れています。また、社員食堂では地産地消を推進し、関西広域連合エリア産の食材を使用した安心・安全な食事を提供しています。人気メニュー投票やイベントメニューなど、社員のエンゲージメント向上にも一役買っています。

地域社会との共生

堺工場は、地域社会との共生を重視しています。工場周辺の清掃活動や献血活動、地域イベントへの参加など、サステナブル活動を積極的に展開しています。こうした取組みは、企業の社会的責任を果たすうえで欠かせないものです。



岸壁清掃

DIC グループのグローバル戦略と堺工場の位置づけ

DIC 株式会社は、世界 62 の国と地域に 171 のグループ会社（2024 年 12 月 31 日現在）を展開し、連結売上高は 1 兆 711 億円、営業利益は 445 億円（2024 年度実績）です。海外売上比率は約 71% に達し、グローバル市場で確固たる地位を築いています。堺工場は、このグローバルネットワークの中で、日本国内の重要な生産拠点として機能し、世界市場に向けた高品質な製品を供給しています。

まとめ

堺工場は、単に生産拠点の 1 つではなく、技術革新と環境配慮を両立させる DIC の基幹工場として進化を続けています。印刷インキから始まった DIC の中で、今や自動車、エレクトロニクスを始め、多岐にわたる業界のユーザーに対して、その基盤を支える合成樹脂製品を提供するのが私たち堺工場です。ここで生み出される製品は、生活のあらゆる場面に息づいており、見えないところで社会を支える存在です。今後も堺工場は、安全・環境・品質を重視しながら、世界に誇るファインケミカルメーカーとしての使命を果たし続けます。

これからも「安全第一主義」を、創業125周年を迎える間口運輸

間口運輸株式会社

はじめに

間口運輸株式会社は、1901年(明治34年)に創業者 間口伊之助が大阪市西区湊屋町で舁回漕業および船内・沿岸荷役業を営んだことを創業の起点としています。以来120年以上にわたり、日本の港湾物流の発展とともに歩み続けてきました。



間口組本社建物 1925年頃

大正から昭和初期にかけて、日本の港湾物流は輸出入の増加とともに拡大を続けました。

間口伊之助はその流れを見据え、事業を法人化し、港湾荷役に加え陸上輸送や倉庫保管など関連分野にも事業を拡大していきます。

しかし1941年(昭和16年)、太平洋戦争勃発。終戦間際の大阪大空襲をはじめとする戦時下の混乱によって、多くの港湾施設が損壊し、事業の継続は困難を極めました。当時、港湾運送業等統制令により沿岸荷役業のみ存続していた間口組も戦火で多数の社員を失い、本社や機材も焼失するなど甚大な被害を受けました。そうした状況の中、1947年(昭和22年)に創業者の息子である間口良男が事業を引き継ぎます。

焼け野原からの復興が始まり、港湾荷役の需要が急速に高まる中、荷役・運搬業務を中心に事業基盤を再構築。

1947年、社名を株式会社間口組から「間口運輸株式会社」に改め、戦後の混乱期を社員一丸となって事業再建に取り組みました。



(株)間口組前列中央が間口良男(1946年頃)

その後も物資輸送の復興需要に応える形で大阪港の再生に貢献。港湾荷役事業を基盤に、国内輸送・倉庫業・通関・国際物流などへと事業領域を拡大し、現在ではマグチグループの中核企業として大阪港の重要な物流基盤を担う企業へと発展しています。

港湾運送事業第1種限定免許 第一号認可取得

新たに再出発した間口運輸ですが、その前途はまだ容易ではありませんでした。港湾運送業等統制令が廃止され自由競争が導入されると、全国から多数の業者が参入。仕事の争奪戦や作業員同士の衝突が日常化し、港湾秩序は大きく乱れていました。さらに1950年(昭和25年)の朝鮮戦争勃発により貨物量は急増。業者乱立が拍車をかけ軍需物資輸送にも支障をきたす恐れが生じました。

この事態を受け、政府は1951年(昭和26年)、業界秩序確立を目的とする港湾運送事業法を施行。港湾事業を一般港湾運送事業(第1種)、船内荷役事業(第2種)、舁運送事業(第3種)、沿岸荷役事業(第4種)に分類し、一定要件を満たす者の登録制としました。



昭和30年代に入ると、日本は高度経済成長期を迎え、港湾輸送の需要が飛躍的に拡大します。昭和34年(1959年)には港湾運送事業が改正され、企業事業者保護と秩序の確立を目指し事業登録制が免許制に移行しました。

これに伴い、当社は1962年に大阪港第2種(船内荷役)、1963年には大阪港第4種(沿岸荷役)の事業免許を取得。1964年には大阪港における「港湾運送事業第1種限定免許」の第1号認可を取得しました。

その後も事業拡大を進め、1966年には海上運送法に基づく海運代理店業・海運仲立業の届け出を行い、1967年には大阪港第3種(艀)事業免許を取得。荷役専門から港湾運送全般へと事業の幅を広げていきました。

本社移転と基本政策の制定

1954年(昭和26年)、住吉区長狭町の本社が手狭となり同区万代東へ移転。1954年には港区三条通4丁目(現住所：港区築港2丁目)へ再移転し、1963年(昭和38年)には同地に鉄筋コンクリート4階建の本社社屋が竣工しました。



社内報「まぐち」第1号

本社ビル完成に先立ち、1962年には当社初となる基本政策を発表し、「多様化の専門化」「コストの把握」「資源の開発(人材発掘・教育訓練)」を掲げました。その後1988年には「新しい機能の創造(知恵・勇気・発想)」を追加し、基本四大政策として現在まで受け継がれています。

また1964年(昭和39年)には社内報「まぐち」創刊号を発行。その冒頭には「天の時は地の利に如かず、地の利は人の和に如かず」が掲げられ、これが当社の社是として脈々と受け継がれています。

業界初の企業内職業訓練校設立

東海道新幹線が開業し、アジア初の五輪大会東京オリンピックが開催された1964年。間口運輸は港湾業界としては国内初の企業内職業訓練所を立ち上げました。間口良男が職業訓練制度の必要性を痛感したのは港湾マヒが問題化した1960年ごろのことです。港湾労働の人手不足や作業効率の低下、労働災害の増加が業界全体の課題となっていました。良男はこうした状況を踏まえ、「これからは人を集めるのではなく育てる！人材育成にこそ投資するべき」と、1962年に制定した基本政策にも「人材の発掘・教育訓練」を盛り込み訓練所設置計画を始動させます。

同じころ、政府が「港湾労働等対策審議会」を設置するなど、港湾労働者育成のための環境も少しずつ整い始めており、審議会が三・三答申を発表した1964年3月、当社の訓練所も満を持して開設の日を迎え、中学卒16人が1期生として入校しました。授業はロッテルダム港湾訓練学校を参考にした独自カリキュラムで、講師は専任指導員やベテラン社員、時には良男社長自らが担当しました。コースは本科(中卒対象・3年)、研修課(高卒対象・2年)、専科(大卒対象・1年)の三コースで、修了時にはクレーン運転士・揚貨装置運転士・大型特殊自動車運転士・フォークリフト運転技能者など多くの資格を取得し、現場で即戦力として活躍しました。



入所式(1967年)



研修生の本船実習風景(1967年)



終了証授与式 一期生

1969年、大阪港に初めて寄港したコンテナ船「オーストラリアン・エンタープライズ号」の本船荷役も、訓練所一期生を中心とした若手が担当し、新時代の港湾作業を担う存在として注目されました。

当初、企業内訓練組織としてスタートした訓練所は翌1965年、大阪府知事の認可を得て「間口運輸事業内職業訓練所」として正式に発足。これは単なる社員教育の枠を超え、国家資格に準ずる専門教育を社内で実施する画期的な試みであり、以降の間口運輸の成長に大きな影響を与えました。

1969年には職業訓練法改正を受けて「間口運輸港湾高等職業訓練校」と改称。基礎技能訓練から専門訓練へと領域を拡大し、荷役機械の操作訓練、玉掛けやフォークリフトの技術、安全衛生講習などを行い、現場で即戦力となる人材を育成しました。

1974年4月、大阪府と当社など港湾関連企業が公共で推し進めた職業訓練施設計画が実を結び「大阪港湾労働分校（現・大阪港湾労働分所（ポリテクセンター大阪港））」と「大阪府港湾教育訓練センター」が開校します。これに訓練機能を移管した当社は同年3月、自社訓練校の歴史に幕を下ろしました。

この「人を育てる企業文化」は、後のマグチグループ全体にも受け継がれ、単に作業を請け負うだけでなく、技能と知識を次代へ継承する企業として港湾業界に新たな価値をもたらしました。修了者たちは各現場の中核人材として活躍し、間口運輸の基盤を築く契機となっています。

倉庫事業の展開

1980年代初頭、物流オペレーション事業が軌道に乗ると、間口運輸は物流の要である倉庫事業へ本格進出しました。もともと港湾荷役会社として創業した当社は、保税地域などで荷物を一時保管する上屋保管業を1964（昭和39）年から始め、主に木材類を取り扱っていましたが、事業転換の一環として一般の倉庫業（営業倉庫）への進出をめざし、情報収集を進めていました。

こうした中、泉大津市臨海町の倉庫・配送センター（5,000㎡）が売却される情報を得て折衝を開始。1980年10月に買収し、12月、泉北倉庫出張所を開設しました。翌1981年には倉庫業法による倉庫業許可を取得し、営業を開始。当初の取扱品目は化学品が中心でしたが、1989年に冷凍冷蔵倉庫として改造し、許可を取得するとともに、保税蔵置場・検疫指定場所許可も取得。大手ファーストフード店の関西物流センターとして輸入から配送までグループ一貫体制で運営しました。

さらに1986年には汐見倉庫株式会社の全株式を取得し、南大阪地区の物流拠点を強化。1989年には汐見埠頭後背地に第一汐見倉庫（現 藤井倉庫）を建設し、1996年には南港中央倉庫を開設するなど、関西地区における物流基盤を拡大していきました。



昭和後期から平成へ

昭和後期から平成にかけては、輸送の多様化と国際化が進み、港湾荷役のみならず、陸上輸送・倉庫・流通加工などを含めた総合物流体制を整えていきました。

1975年株式会社大阪木材流通センターを設立し、翌年、汐見倉庫株式会社に商号を変更します。

1982年には海上コンテナ業務（陸上輸送）を開始、85年に大阪港での港湾荷役事業免許（船内と沿岸統合）を取得しました。

1988年には間口グループ安全理念を制定し、安全を企業活動の中心に据える姿勢を明確化しました。

1999年、事業内容の多角化に伴い、間口運輸株式会社は株式会社間口に名称を変更。間口グループ全体の管理統括業務を担います。

また間口運輸が持つ免許事業（港湾運送事業・倉庫業・通関業・国際運送事業）と、関連する事業所・施設・荷役機械などを汐見倉庫株式会社に譲渡しました。汐見倉庫株式会社はその後、再び間口運輸株式会社に商号変更し、間口グループは8社で構成されることになります。（現在マグチグループは39社）

2006年（平成18年）代表取締役に間口敦生が就任します。就任後は安全第一主義を掲げ、グループの経営理念である「社会に貢献 社員の幸せ」を体現化。若手育成、組織改革を推進しました。近年は、国土交通省が推進するカーボンニュートラルポート構想、RTG遠隔操作や自動化、CONPAS、AIターミナル構想など革新的な取り組みが港湾物流に急速に広がっており、当社もその変革を先導する存在として大阪港の発展に寄与し続けています。

間口良男名誉会長

2014年（平成26年）6月5日、間口良男名誉会長が享年94で逝去しました。終戦直後の1945年、25歳で代表に就任して以来、70年近くにわたり陣頭指揮を執り、港湾荷役専門の間口運輸を総合物流企業へ成長させた立役者でした。「人の和」を重んじ、全員が幸せになれる企業を目指した人柄は、多くの社員・顧客から深く愛されました。

良男会長は生前、正六位および旭日双光章を受章し、2017年には大阪港開港150年記念式典で「港湾功労者」として顕彰されました。国内港湾業界初の「事業所内職業訓練所」の設置や海洋少年団活動など、長年の功績が評価されたものです。

また同年、間口敦生代表取締役社長が厚生労働大臣表彰の功績賞を受賞し、地域の安全衛生向上へ多大な貢献を果たしたことが認められています。

ISO45001 取得

2021年に創業120周年を迎えた当社は、改めて安全への取り組みを体系化するため、労働安全衛生マネジメントシステムの国際規格であるISO45001の取得に着手しました。それまでも間口運輸では「安全第一主義」を徹底していましたが、120周年を契機にその内容をより実効性の高いものへと再構築することを決意し、社内プロジェクトを発足、新たにISO45001認証取得の為に専属チームを立ち上げました。取得に必要な項目は多岐にわたり、従来の作業手順書の全面的な見直しや作業プロセスの文書化が求められましたが、各事業所の責任者が積極的に関与し、リスクアセスメントを活用しながら現場の声を取り入れて改善を重ねました。経営層の理解促進や社員への意識浸透にも取り組み、勉強会や外部講習を通じて専門知識の習得を進めました。

また、当時はコロナ禍の真っ只中、感染症対策を徹底し、会議体をオンライン化したことも功を奏し、衛生面と連携強化を両立しながら進める事が出来ました。ただし、現場の末端の社員まで意識を浸透させるにはオンライン会議では限界があります。外部講師に頼る事なく、自社の業務内容に即した資料を作成し、弊社の社員約500人に対し少人数制の勉強会を30回以上にも渡り実施する事で、末端の社員まで意識を浸透させることができました。その結果、2023年には労働安全衛生マネジメントシステムの国際規格であるISO45001の認証をすべての営業所・出張所にて取得しております。ISO45001の導入は、安全意識を企業文化として根付かせる重要な節目となりました。



ISO45001を認証取得してから今年で3年、その結果は如実に現れており、これまで、毎年2、3件は発生

していた労災が、今年度はゼロを継続中、ISO の基本概念である PDCA サイクルによるスパイラルアップが確実に行われ、結果、企業としての改善力が向上しています。今後も、「安全第一主義」を体現すべく ISO 45001 認証を継続し、災害ゼロを目標に社員が働きやすい労働環境を構築して参ります。

2025 年大阪・関西万博

2025 年 4 月 13 日から 10 月 13 日まで大阪市此花区夢洲で開催された大阪・関西万博において、マグチグループは株式会社住友倉庫との「住友倉庫グループ・間口グループ共同企業体」として、公益社団法人 2025 年日本国際博覧会協会より「推奨物流事業者」および「場内貨物取扱指定事業者」に選定されました。これは、大阪港を拠点に 120 年以上にわたり築いてきた技術力・安全性・信頼性が高く評価された結果です。

万博関連業務においては、パピリオン建築資材や展示物、美術品、食品、飲料、土産物をはじめ、イベント関連貨物やその他物品の輸送・保管・構内運搬などを安全かつ効率的に行うことが求められています。間口運輸はその中核を担う企業として、これまで培ってきた港湾物流のノウハウと、地域に密着した事業基盤を活かし、普段経験することができない苦労や苦難も多々ありましたが、関係各社の協力を得て、全社一丸となって取り組み、無事に安全第一にて万博での作業を終えることが出来ました。

更に会期後も会場内のものを国内外へ搬出。共同企業体との連携で万博参加者のスムーズな閉幕作業を支援しています。

さらに、環境対応車輛の導入や再利用資材の回収・再配送など、持続可能な物流モデルの構築にも積極的に取り組み、「地域の港を支える企業」から「未来の社会を支える企業」へと進化しつつあります。

大阪・関西万博での経験は間口運輸にとって単なる一事業の枠を超え、間口運輸の「現場力」と「信頼」を示す貴重な実績であり、今後の事業展開に活かされる大きな財産となります。

この経験をレガシーとして次のステージへとつなげ、間口運輸のみならずマグチグループ、お取引先様の発展に寄与してまいります。



不易流行

長い歴史の中で、当社は「変わらず守るべきもの」と「時代に合わせて変革すべきもの」を見極めながら企業運営を続けてきました。創業者 間口伊之助の精神「誠実な仕事で信頼を得る」という理念は、時代を超えて受け継がれ、今も変わらず企業活動の中心にあります。

一方で技術革新や社会の変化が加速する現代において、港湾事業の高度化、新規事業開拓、若手育成、組織改革にも積極的に取り組んでいます。安全第一、仲間を大切に、誠実に最善を尽くす姿勢を基盤に、地域社会に貢献し、未来を担う子どもたちに誇れる港づくりを進めてまいります。

間口運輸株式会社は、これからも「社会に貢献 社員の幸せ」というグループ経営理念の元、「安全第一主義」を掲げ、港湾物流を中心とした日本の産業・社会の発展に貢献してまいります。

常^{ライフライン}に未来を見据えチャレンジ。宮崎県の物流を担うために

八興運輸株式会社

はじめに

この度は、【大阪府のみなと】への寄稿の機会をいただきありがとうございます。この機会に、八興運輸(株)の事をご存じでない方々に八興運輸(株)を知っていただける良い機会となる事を願っております。

八興運輸の取り組み

1953年(昭和28年)3月に、宮崎県日向市で八興商事(株)として創立、1967年(昭和42年)に現在の八興運輸(株)に商号変更。それから時代が大きく変化していく中で弊社もさまざまな歴史を経て、2001年(平成13年)に宮崎県(宮崎港・細島港)と大阪府大阪市(大阪南港)を結ぶRORO船(Roll on/Roll off)『船名：はっこう21』を就航させ、陸上輸送だけではなく海上輸送も請け負う海陸一貫輸送で宮崎県から大消費地への長距離輸送を担ってまいりました。2009年(平成21年)には、はっこう21の寄港先を大阪南港より堺泉北港へ移すと同時に、弊社大阪営業所も泉大津市へ移しました。

また社会環境の変化、県産品等の出荷増に対応すべく2020年(令和2年)には後継となる新造RORO船『船名：HAKKO ひなた』を就航いたしました。船舶の大型化により積載量は約2倍となり、陸上輸送と連携を図りながら更に物流進化をとげた、海陸一貫輸送を提供しております。

さらに弊社は、RORO海運事業、陸運事業だけでなく、港湾荷役全般を行う港湾荷役事業。

一貫輸送を行う上で顧客のニーズに答えるための倉庫業。一般倉庫をはじめ、宮崎港には天井クレーン付き倉庫や細島港には保税倉庫もあります。



輸出輸入業務を行う通関・船舶代理店業。釜山・上海経由で世界各国を結んでおります。

曳船事業(タグボート)も行っております。

RORO 船『HAKKO ひなた』について

全 長：134メートル

総トン数：4,999トン

航 路：宮崎港(宮崎県宮崎市)～細島港(宮崎県日向市)～堺泉北港(大阪府泉大津市)

積載台数：13mシャーシ65台、商品車(無人乗用車)100台

※電源車(定温貨物)が必要な電源設備も完備

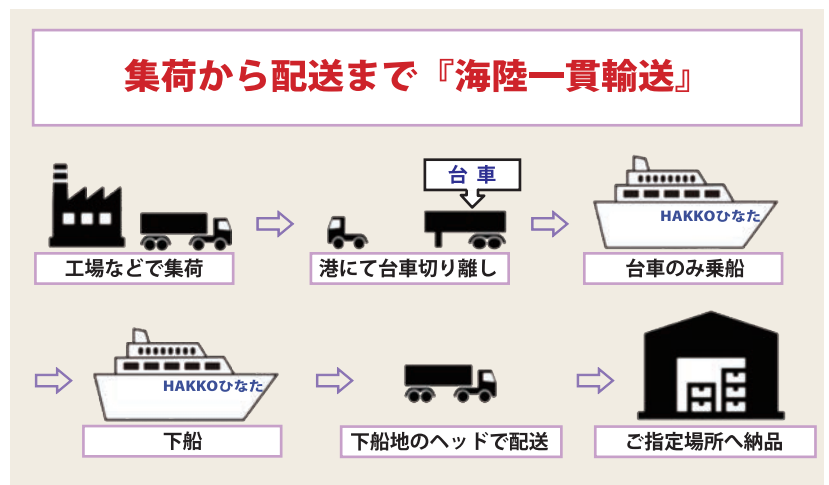


現代社会の問題に対する打開策として数年前より社会問題となっている燃料価格の高騰、ドライバー不足と高齢化、2024年問題への対応など、物流を担う運送業界は多くの問題に直面しています。

八興運輸は、多くの問題の中から打開策の一つとして、南九州からの輸送・南九州への輸送は、弊社RORO船を使用したモーダルシフトをご提案させていただいております。たとえば長距離陸上輸送からRORO船を利用することにより、次の効果があります。

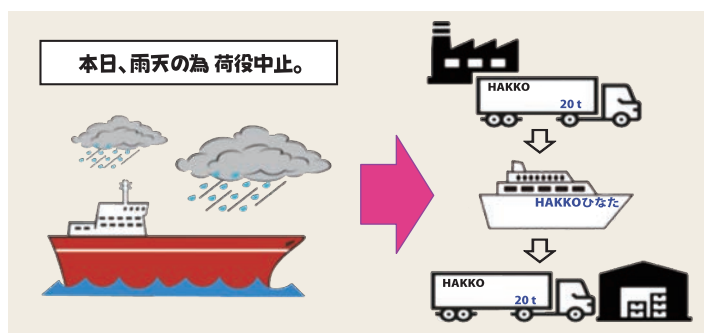
事故のリスク軽減、環境負荷の減少、さらに大型トラック輸送から弊社トレーラーにて集荷から納品までを行う海陸一貫輸送をご利用いただく事で、物流コストの削減、長距離ドライバー不足の解消も実現可能となっております。

そして関西⇔南九州の輸送だけにとどまらず、堺泉北港で他社船へトランシップすることにより、南九州⇔関西⇔関東方面へも一貫輸送も可能となっています。



現状、弊社RORO船は、南九州からの上り便に関して乗船率80%超、南九州への下り便の乗船率は30%～40%に留まっております。そこで弊社は、貨物船を利用して南九州へ輸送している貨物をトレーラー化に変換していただく提案をさせていただいております。

トレーラー化に変換することにより、
雨濡れを嫌う貨物の雨天による荷役延期に伴う、納期の不透明性解消や追加経費の削減！
荷役作業に伴う特殊機械や人件費などの経費削減！
荷扱い回数の削減！
必要な時に、必要な量だけを輸送できる！
ゲリラ豪雨などの急な雨による品質事故の減少！
などメリットが見込まれます。



このように物流に関するさまざまな問題への打開策として弊社RORO船をご利用いただき
厳しい現状から抜け出す打開策として皆様に貢献できたらと思います。



HAKKOひなた スケジュール

堺泉北港(大阪府 泉大津市)			宮崎港(宮崎県 宮崎市)			細島港(宮崎県 日向市)		
曜日	入港	出港	曜日	入港	出港	曜日	入港	出港
月曜日	7:00	12:00	火曜日	7:00	11:00	火曜日	13:00	17:00
水曜日	7:00	12:00	木曜日	7:00	11:00	木曜日	13:00	17:00
金曜日	7:00	12:00	土曜日	7:00	11:00	土曜日	13:00	15:30 (日曜日)

※各港、荷役終了次第 出港する場合があります。

これからの八興運輸

2024年10月に大阪港湾局と宮崎県県土整備部は、パートナーシップ港提携に関する覚書を締結。これにより関係機関と協力・意見交換する事により取扱貨物量の拡大を見込んでおります。

またこれまで以上に政府は、更なるモーダルシフトを推奨していることからRORO船の需要が高まる事が考えられ、私共 八興運輸(株)は創業以来、現在に至るまでに培った物流の知識を基礎とし、これから訪れる2030年問題などに対応すべく新たなことへのチャレンジ、また様々なニーズに対応しながら安全輸送に努め、物流を担いたいと思います。

最後までお目通しいただき、誠にありがとうございます。



美しく安全な港を

Keep the Port Clean and Safe

—会員の皆様とともに—
堺泉北港の海面清掃や
啓発活動を通じて
美しく安全な港づくりに
貢献します。



使い捨ての習慣を見直そう
ごみのポイすてはやめよう
河川・海岸の清掃活動に参加しよう



一般社団法人 大阪府清港会
Osaka Pref.Seikou-kai
会長 鈴木 隆

〒592-8331

堺市西区築港新町4丁3番地

TEL 072-244-7571

FAX 072-247-1314

✉ seikokai@aroma.ocn.ne.jp

入港から出港まで安全な作業で
サポートいたします

組 合 員

関西港湾サービス株式会社

内海曳船株式会社

日東タグ株式会社

三洋海事株式会社

日本海事興業株式会社

株式会社武丸海運

昭陽汽船株式会社

日本栄船株式会社

大阪府タグ事業協同組合

理事長 小幡 斉

〒595-0055 大阪府泉大津市なぎさ町6番1号 堺泉北港ポートサービスセンタービル8階
TEL 0725 (31) 0521 FAX 0725 (31) 0578



専門知識を持った
社員が
丁寧にサポート

輸出入、海外送金等、
多様な外為業務に
対応

海外現地法人の
口座開設・
資金調達に対応

充実した
関西みらい外為
Webサービス



アジアを中心とした海外ビジネスに関する
ご相談はお気軽に弊社までお問い合わせくだ
さい。



関西みらい銀行



港湾地域における円滑な物流活動を支援すること
を通じて社会に貢献していきます



堺泉北埠頭株式会社

SAKAI SEMBOKU WHARF Co., Ltd



埠頭運営事業

青果事業

上屋賃貸事業

中古車ストックヤード賃貸事業

シャーププール賃貸事業

緑地運営事業

〒595-0055 泉大津市なぎさ町6-1 堺泉北港ポートサービスセンタービル9F TEL.0725(20)2270 FAX.0725(20)2281
堺青果センター 〒590-0987 堺市堺区築港南町12番地 TEL.072(222)0391 FAX.072(232)1241

ボウリング カラオケ 団体予約承ります!!



泉大津フタバボウル

〒595-0072
泉大津市松之浜町1-2-53

ボウリング 0725-22-8128

カラオケ 0725-33-8920

南海 松ノ浜駅より徒歩2分

無料駐車場67台完備

送迎バス有(要予約)

限りのない挑戦が新しい未来を創造する

"Our never ending challenges create the world's future"



HEIWA AUTO

平和オート株式会社【中古車輸出事業】

〒595-0055 大阪府泉大津市なぎさ町6-1 きららセンタービル12階

TEL: 0725-20-1010 HP: <https://www.heiwa-auto.co.jp/>



HA HOLDINGS を通じて

新たなライフスタイルサービスも展開しております。



FIT365
フィットネスジム

貝塚店

東岸和田店 和泉富秋店



岸和田春木店

岸和田八阪店 富田林店



お席で注文 食べ放題

泉佐野店

和泉中央店 岸和田店



泉大津港湾振興会

会 長 南出 賢一 (泉大津市長)
副会長 森本 護 (大一機工(株)専務取締役)
副会長 中林 政一 (藤原運輸(株)大阪支店 統括営業部長)
副会長 中田 憲正 (堺泉北埠頭(株)相談役)

〒595-8686 泉大津市東雲町9-12
泉大津市市長公室 地域経済課内
TEL. 0725 (51) 7651 FAX. 0725 (32) 6000



ENEOS

ENEOS株式会社 堺製油所

〒592-8550 大阪府堺市西区築港浜寺町1番地

貝塚港湾労働者福祉センターにて

みんなの **テッペン**
食 堂 頂

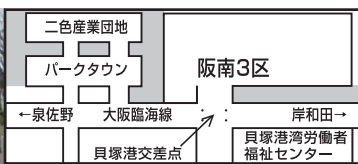
営業中!

お気軽にお立ち寄りください!

貝塚港湾振興会

会 長 酒 井 了 (貝 塚 市 長)
副会長 宮 崎 和 昭 (貝塚商工会議所会頭)
副会長 仙 波 美智代 (奥本製粉(株)代表取締役社長)

〒597-8585 貝塚市畠中 1 丁目 17 番 1 号
貝塚市都市整備部都市計画課内
TEL. 072 (433) 7246 (直 通)
FAX. 072 (433) 7511 (代 表)



貝塚港湾労働者福祉センター
貝塚市港 25 番地 Tel.072(431)5554



岸和田港振興協会

Kishiwada Port Promotion Association Since 1952

会 長 佐野 英利 (岸和田市長)

〒596-8510 岸和田市岸城町 7-1 (岸和田市魅力創造部産業政策課内)
TEL:072 (423)9618 FAX:072(423)6925



全ての経営活動を「お客様視点」へ転換させ、
誰からも愛される「日本を代表する住まいと暮らしの総合企業」を目指します！



コーナン商事株式会社：〒532-0004 大阪市淀川区西宮原2丁目2番17号 TEL 06-6397-1621(代)
ホームページ <https://www.hc-kohnan.com/>



堺港湾振興会

Sakai Port Promotion Association

会 長 堀畑 浩重(阪南倉庫(株)代表取締役社長)
副会長 井内 義之(関西港湾サービス(株)代表取締役社長)
副会長 上西 浩(堺市産業振興局長)

〒592-8332 堺市西区石津西町26 堺市港湾事務所内
TEL 072(244)7368 FAX 072(244)3496

汐見埠頭協議会

会 長 角野 錦吾(朝日海運株式会社)
副会長 甲斐 信之(間口運輸株式会社)
副会長 佐々野 健二(山九株式会社)

泉北港港運協議会

会 長 衣畑 拓也(中谷運輸株式会社)

〒595-0075 泉大津市臨海町2丁目1 泉北5区港湾労働者福祉会館内
TEL 0725(21)4377 FAX 0725(21)4377

高石港湾振興会

会長 畑中 政昭（高石市長）

副会長 谷本 順一（高石商工会議所会頭）

副会長 篠原 宏敬（株式会社上組大阪支店堺出張所長）

〒592-8585 高石市加茂4丁目1番1号 高石市総合政策部 まち未来戦略室 産業共創課内
TEL 072 (265) 1001 FAX 072 (263) 8143



旅客 トラック
ご予約・お問い合わせ
0570-01-8989

新門司...093-481-6681
神戸...078-857-1223
泉大津...0725-22-6361



チケットレスで、スムーズに。



株式会社ONECROSS

高品位尿素水

AdBlue®

日本製

AdBlue製造・販売メーカー

65円!!

/1ℓ（税別）
※給水の場合

- ☆1kℓタンク 無償貸与！
- ☆ガンホースセット無償提供（5m迄）
- ☆給水時にタンク内の汚れチェックします！
- ☆定期給水等も承ります！
- ☆大阪以外の都府県も極力対応致します。

面談希望の方は06-6753-5918へ
お気軽にご連絡ください。

泉大津埠頭株式会社

代表取締役社長 南出 賢一

〒595-0055 泉大津市なぎさ町6番1号
TEL.0725(33)6851 FAX.0725(33)4425

海・陸 一貫くらしを支えます！



大阪運輸株式会社

本社 〒559-0013 大阪市住之江区御崎6-3-1
TEL.(06)6682-8808(代表) FAX.(06)6682-8818
URL. <http://www.osakaunyu.jp/> 大阪運輸 検索

大阪府水難救済会



副会長 矢澤 明

〒592-8332 堺市西区石津西町26 堺市港湾事務所内
TEL 072(244)7368 FAX 072(244)3496

THE BEST FROM THE WORLD

いいものを世界から

服飾事業・不動産賃貸業・営業倉庫業

株式会社 **カワサキ**

<https://www.kawasaki-corp.co.jp>【上場コード 3045】

本社 〒595-0814 大阪府泉北郡忠岡町新浜2丁目9番10号

TEL.072-439-8011 FAX.072-439-8013

大阪支店・東京支店

南海本線 泉大津駅前 ホテル **レイクアルスター** アルザ泉大津



一品一品に旬の息吹にあふれた素材をふんだんに取り入れ、職人が腕をふるう本格会席料理でおもてなし致します。

●ご宿泊・ご宴会予約、承ります●

TEL.0725-20-1121 FAX.0725-23-1959



曳船業・海上防災業・船舶代理店業・繋離船業

関西港湾サービス株式会社

代表取締役社長 井内 義之

本 社／〒590-0974 堺市堺区大浜北町3丁4番2号
TEL 072(238)3965 FAX 072(238)3968

- 軽水炉(PWR / BWR)用原子燃料の開発・設計及び製造
- 軽水炉(PWR / BWR)の炉心管理サービス
- 新型炉HTRその他研究炉用燃料
- 原子燃料サイクル関連技術開発
- 原子燃料関連検査装置等の設計、製作



ヘレット君



原子燃料工業株式会社

本社 神奈川県横浜市鶴見区鶴見中央四丁目33番5号
熊取事務所 大阪府泉南郡熊取町朝代西1丁目950番地
(泉大津工場) 泉大津市河原町7番5号
大阪営業部 大阪府西区土佐堀一丁目3番7号

TEL 045-500-6310
TEL 072-452-3901
TEL 0725-22-3363
TEL 06-6443-0628

コスモ石油株式会社

堺製油所

〒592-8331

大阪府堺市西区築港新町三丁16番地

TEL : 072-245-8551 FAX : 072-245-1249

URL : <http://www.cosmo-oil.co.jp>

「ありがとう」の気持ちで会社の名前です。

サンキュー SINCE1918. 物流で世界を結ぶ

山九株式会社 泉北支店

港運送事業 輸出入海貨代理店業 倉庫業 国際複合一貫輸送業 船舶代理店業
国内外海上輸送業 国内陸上輸送業 航空貨物取扱業 建設業

支店	堺市西区浜寺石津町東2丁3-30	TEL.072(243)3900(代)
泉北港事務所	泉大津市汐見町111-5	TEL.0725(33)0539
泉北物流センター	堺市西区築港新町2丁6-8	TEL.072(243)0039
助松物流センター	泉大津市小津島町6番7	TEL.0725(23)7239
関西ケミカルセンター	高石市高砂2-1	TEL.072(268)3909

物流のあらゆるニーズにお応えいたします！

一般港湾運送事業・貨物運送取扱業・倉庫業・通関業
海運代理店業・梱包請負業・港湾荷役・損害保険代理業



新洋海運株式会社

代表取締役 社長執行役員 稲葉 徹志

本社：〒590-0954 大阪府堺市堺区大町東1丁1番10号
TEL : (072) 238-1161 FAX : (072) 223-4050
URL : <http://www.shin-yo.co.jp/>

支 店：南港・泉北 事業所：塩浜・大浜・桑名・宮崎
営業所：東京・博多 海外現地法人：ベトナム・タイ

大阪府公安委員会 第 62000413 号 (一社) 大阪府警備業協会会員



安心・安全・信頼 真心のサービスを提供
第一警備保障株式会社

代表取締役社長 阪本 敦史

〒595-0055 泉大津市なぎさ町2番10号

TEL 0725-33-6787

FAX 0725-33-7649

港湾運送業 倉庫業 建設業 通関業



Daito Co., Ltd.

LOGICAL & DYNAMIC

株式会社 大都

代表取締役社長 間口 豪

〒552-0022 大阪市港区海岸通2丁目1-11
TEL.06-6574-0125 <https://www.daito.biz/>

海陸複合一貫輸送により物流戦略をサポートします。
RORO船定期航路利用によるモーダルシフトの促進



大 王 海 運 株 式 有 限 公 司

代表取締役社長 岩井 正実

ISO9001:2008認証取得 ISO14001:2004認証取得

〒102-0071 東京都千代田区富士見二丁目2番5号 飯田橋メインビル
TEL.03-3261-6815 FAX.03-3261-7310

nakatani



中谷運輸株式会社

代表取締役社長
中谷 庄司朗

〒552-0022 大阪市港区海岸通1丁目5番22号
Tel.06-6572-5021 Fax.06-6574-1023



HAKKO
ひなた

通関・海陸一貫輸送業
八興運輸株式会社

〒595-0074 大阪府泉大津市小津島町4番地
TEL 0725 90 5385 FAX 0725 90 5485



間口運輸株式会社

創業 明治34年

代表取締役社長 間口 敦生

港湾運送事業 港湾荷役事業
倉庫業 通関業

〒552-0021 本社 大阪市港区築港2丁目8番34号

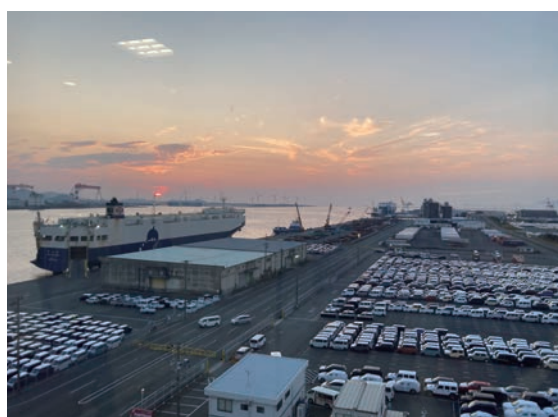
「大阪府のみなと」への ご意見・ご感想及び広告の募集



(一社)大阪府港湾協会では「大阪府のみなと」への皆様のご意見・ご感想をお待ちしております。
併せて「大阪府のみなと」への広告掲載も募集しております。頂いた広告は会員情報欄に掲載します。
ご意見・ご感想や広告掲載に関するお問い合わせは、下記までお願いいたします。

(一社)大阪府港湾協会

住所: 〒595-0055 泉大津市なぎさ町6-1 堺泉北港ポートサービスセンタービル10階
TEL.0725-20-0690 FAX.0725-21-7259 E-mail: kyoukai@fship.or.jp



先進港視察



(一社) 大阪府港湾協会

～ 新規会員募集のご案内 ～

(一社) 大阪府港湾協会は府営港湾各港の振興対策の推進、府域の産業経済の発展と府民生活の向上、並びに沿岸市町の都市基盤整備に寄与することを目的とする一般社団法人です。

大阪府営港湾の振興の一環として、会員企業・団体の皆さまに各種セミナーのご案内（参加無料）や会報誌『大阪府のみなと』の広告掲載など、日頃の業務にお役立ていただけるサービスを実施しております。

【会費】

1口 1万円～（年間）



【お問合せ】

(一社) 大阪府港湾協会 事務局
〒595-0055
大阪府泉大津市なぎさ町6番1号
堺泉北港ポートサービスセンタービル10階
Tel 0725-20-0690 Fax 0725-21-7259
E-mail kyoukai@fship.or.jp

【公式ホームページ】

アドレス <https://www.fship.or.jp/>
(大阪府営港湾 WEB サイト Friend & Ship)

会員向けサービス

- 総会記念講演会
- 各種セミナー
大阪みなとセミナー 等
- 先進港視察 開催
★視察先一例
(令和7年度)
・清水港新興津コンテナターミナル
・はごろもフーズ(株)新清水プラント
・(株)河合楽器製作所竜洋工場
・静岡県浜松内陸コンテナ基地
(令和6年度)
・第六管区海上保安本部
備讃瀬戸海上交通センター
・香川県高松港 ・(株)新来島サノヤス造船
・岡山県水島港
(令和5年度)
・千葉県木更津港 ・神奈川県横須賀港
(令和4年度)
・愛知県三河港
・フォルクスワーゲングループ
ジャパン(株)本社視察
- 会報誌『大阪府のみなと』
府営港湾に関わる様々なニュースやイベントを掲載しております。
(無料配布・年3回発刊)

会 員 名 簿

(株)アイ・エー・エー	関西電力(株) 堺LNGセンター	泉南市	阪南港運(株)
朝日海運(株)	関西トランスウェイ(株)	(一社)全日検 大阪支部	阪南市
(株)アテックス	(株)関西みらい銀行	泉北港湾運協議会	阪南倉庫(株)
イースタン・カーライナー(株) 泉北営業所	関西木材(株)	大一機工(株)	阪和流通センター大阪(株)
泉大津港湾振興会	岸和田港湾荷役(株)	第一警備保障(株)	広道商店
泉大津市	岸和田市	(株)大運	藤原運輸(株)
泉大津商工会議所	岸和田商工会議所	大王海運(株)	(株)不動テトラ 大阪支店
泉大津埠頭(株)	岸和田港振興協会	Daigasガスアンドパワーソリューション(株) 泉北製造所	平和オート(株)
泉大津マリン(株)	(特非)紀泉地域21総合整備協議会	(株)大都	(株)ベスト・プロパティ
泉佐野市	共立梱包(株)	(株)大日警 大阪営業所	豊国石油(株)
泉佐野商工会議所	共和海建(株)	大利運輸(株)	POSCO Japan PC (株)
一心港運(株)	(公社)近畿海事広報協会	高石ケミカル(株)	(株)北海鉄工所
岩谷液化ガスターミナル(株)	近畿港運(株)	高石港湾振興会	北港運輸(株) 南大阪支店 泉南センター
岩出建設(株)	(株)クリエイション	高石市	(株)眞壁マテリアル
(株)エヌティーシー	(株)栗本鐵工所 堺工場	高石商工会議所	間口運輸(株)
E N E O S (株) 堺製油所	K H ネオケム(株) 堺物流センター	(株)武丸海運	(株)松菱
大阪運輸(株)	ケイヒン海運(株)	田尻町	丸一鋼管(株) 堺工場
大阪運輸倉庫(株)	原子燃料工業(株) 熊取事業所	忠岡町	丸全昭和運輸(株) 関西支店
大阪機船(株) 南海支店	(株)合通ロジ	(株)辰巳商会	丸全昭和運輸(株) 堺泉北支店
(一財)大阪港湾福利厚生協会	鴻池運輸(株)	田中土建(株) 大阪南合材センター	丸紅エネックス(株) 堺ターミナル
大阪製鐵(株) 岸和田工場	コーナン商事(株)	チヨダウーテ(株) 貝塚工場	岬町
大阪船主会	コスモ石油(株) 堺製油所	(株)土田組	三井化学(株) 大阪工場
大阪府	(株)サウスポイント	(株)Dear Laura	三井金属バーライト(株)
大阪府漁業協同組合連合会	堺港湾振興会	D I C (株) 堺工場	港通船運輸(株)
(一社)大阪府清港会	堺市	東亜建設工業(株) 大阪支店	南大阪埠頭(株)
大阪府タグ事業協同組合	堺商工会議所	東洋建設(株) 大阪本店	(株)やまと
(公財)大阪府都市整備推進センター	堺泉北港湾砂利石材協同組合	(株)東洋信号通信社	(株)ヤマモト鉄工所
(一財)大阪府マリーナ協会	堺泉北船舶安全協議会	内海曳船(株) 堺出張所	郵船港運(株)
大阪府みなと友好倶楽部	堺泉北埠頭(株)	内外輸送(株) 大阪支店	U B E (株) 堺工場
大阪府ヨットセーリング連盟	(株)堺ポートサービス	中谷運輸(株)	(株)横河ブリッジ
(一社)大阪木材コンビナート協会	栄運輸工業(株)	(株)西村運輸倉庫	(株)吉田組 大阪支店
大阪湾広域臨海環境整備センター	阪口倉庫(株)	(株)日新 関西倉庫部	ライオン(株) 大阪工場
大豊運輸倉庫(株)	阪本薬品工業(株) 泉北工場	日鉄物流(株) 関西支店	(株)ONE CROSS
(株)オーナミ 関西事業部	櫻井工業(株) 製材所	日東タグ(株) 阪神本部	
奥田数(株)	(株)さくらコーポレーション 泉大津支店	日東物流(株) 大阪支店	
奥本製粉(株)	山九(株) 泉北支店	日本製鉄(株) 関西製鉄所	
貝塚港湾振興会	産業振興(株) 西日本営業部 関西営業所	日本製鉄(株) 瀬戸内製鉄所 阪神地区(堺)	
貝塚市	三興倉庫(株)	日本通運(株) 大阪国際輸送支店	
貝塚商工会議所	三洋海事(株)	日本栄船(株)	
梶野産業(株)	サンワールド(株)	日本海事興業(株) 神戸・大阪営業所	
金澤運輸(株)	汐見埠頭協議会	日本酢ビ・ポパール(株)	
カナデビア(株) 堺工場	新関西国際空港(株)	日本振興事業協同組合	
要薬品(株)	新関西製鐵(株)	日本トランスシティ(株) 大阪支店	
兼杉興業(株)	伸共運輸(株)	船用商事(株)	
(株)上組 大阪支店	新洋海運(株)	畑野工業(株)	
(株)カワサキ	(株)スバルロジスティクス 関西納整センター	八興運輸(株)	
関空泉大津ワシントンホテル	(株)住友倉庫	(株)PALTAC	
関西港湾サービス(株)	センコー(株) 南大阪支店	パレ・フタバ(株)	令和8年1月1日現在
関西電力(株) 火力事業本部	泉州トラック事業協同組合	阪九フェリー(株) 泉大津支店	会員 180 団体



大阪港湾局巡視船「はまでら」での港湾施設見学会(堺泉北港)

一般社団法人

大阪府港湾協会

FRIEND & SHIP
大阪府営港湾振興Webサイト



〒595-0055 大阪府泉大津市なぎさ町6番1号 TEL.0725-20-0690

印刷発行／令和8年1月

※乱丁はお取り替え致します。